

2025 年度
一般社団法人埼玉県作業療法士会
定時社員総会
議 案 書

■期 日：2025 年 6 月 15 日（日）

午前 10 時 30 分～11 時 30 分

■会 場：ソニックシティ 905 会議室

zoom オンライン ハイブリッド開催

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1 丁目 7-5

一般社団法人 埼玉県作業療法士会

事務局

〒350-0435 入間郡毛呂山町下川原 912-5

TEL/FAX： 049-294-9900

目 次

総会次第

第1号議案	2024 年度事業報告	-----	1
	研修会開催実績一覧	-----	20
第2号議案	2024 年度収支決算報告書・監事意見書	-----	36
第3号議案	定款変更の件	-----	44
第4号議案	理事・監事選任の件	-----	46
第5号議案	2025 年度事業計画及び当初予算案	-----	48
	埼玉県作業療法士会組織図	-----	71
	2023・2024 年度役員名簿	-----	72
	2024 年度 部署長・学会長名簿	-----	73
	2025 年度 部署長・学会長名簿	-----	74

■2025 年 4 月 1 日現在会員数 (2024 年 3 月 31 日)

正 会 員 数 : 1,448 名 (1,492 名)

東部ブロック: 322 名 (338 名)

西部ブロック: 451 名 (451 名)

南部ブロック: 455 名 (478 名)

北部ブロック: 220 名 (225 名)

2025 年度

一般社団法人埼玉県作業療法士会 定時社員総会

次 第

1. 開会の言葉
2. 議長団選出
3. 会長挨拶
4. 定足数報告
5. 書記任命
6. 議事録署名人任命
7. 議案
 - 第1号議案 2024 年度事業報告
 - 第2号議案 2024 年度収支決算報告書・監事意見書
 - 第3号議案 定款変更の件
 - 第4号議案 理事・監事選任の件
 - 第5号議案 2025 年度事業計画及び当初予算案
8. 議長団解任
9. 閉会のことば

第1号議案 2024 年度事業報告

■2024 年度事業報告

会長 宇田 英幸

2024 年度は『対話』をテーマに掲げ、下記重点活動項目に取り組んだ。対面での研修会、地域支援・社会貢献活動への参加者が増え、かつての姿を取り戻しつつある。リハ三団体の一翼として災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定を県と締結できたことは大きなトピックスであった。認知症の人と家族の会との関係はますます濃度を高めており、年度末には川越少年刑務所から受刑者支援の協力を求められた。作業療法を地域へ還元するという大目標へ着実に進んでいると実感している。会員数は1,500 名弱で横ばい。協会の会員数が激減している中でこの数を維持できているのは、ブロック活動をはじめとした各部局、委員会のたゆまぬ努力の成果であると自負し、感謝している。

<2024 年度重点活動項目>

- 災害支援体制の強化
- 組織力強化と処遇改善
- 作業療法の啓発と学生支援の拡充
- 地域支援・社会貢献活動の正常化と強化
- これらを実現させるための広報活動強化

■事務局

事務局長 大橋 幸子

■法人管理部

部長 大橋 幸子

1. 事業履行の管理・促進
2. 定款・諸規則・規程の整備
3. 法務・財務管理
4. 総会議案書作成
5. 総会及び理事会議事録の作成・保管
6. 監査対応
7. 公文書の発行及び収受管理
8. 委託事業等に関する契約および関連事業の業務管理
9. 地方公共団体および関連団体への対応
10. 作業療法士及び講師派遣事業に係る事務管理
11. 法人加盟・協力団体に関する事業
 - 1) 日本作業療法士協会及び都道府県作業療法士会 48 団体連携協議会
 - 2) 埼玉県リハビリテーション三団体連絡会議
 - 3) 一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会
 - 4) 埼玉県地域リハビリテーション推進協議会
 - 5) 埼玉県多職種連携地域包括ケアシステム推進会議
 - 6) 埼玉県摂食嚥下研究会
12. 関連団体の事業後援、共催に関する業務
13. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携事業に関する業務管理
14. 職員労務管理
15. その他の事務局関連業務
16. 三役会議の開催 3回
17. 法人管理部会（各種会議含む）の開催 5回

■総務部

部長 丸 達也

1. 総会、理事会の開催運営
 - 1) 第 38 回定期総会（オンライン）を行った。
 - 2) 理事会（月 1 回、年間 12 回）
2. 正会員及び賛助会員の募集
3. 会員の入退会及び情報管理

4. 会員名簿管理
5. 研修会案内等のインターネットによる情報配信（電子定期便）25回
6. 求人・求職情報への対応
7. （一社）日本作業療法士協会会員管理データシステム関連業務
8. 総務部会の開催 2回

■財務部

部長 北村 ミチル

1. 2024年度予算執行についての収支管理及び決算時財務処理
2. 会計帳簿の管理
3. 会費の徴収・督促関連業務
4. 作業療法士及び講師派遣事業の財務管理
5. 福祉総合サービス補償加入関連業務
6. ウェブサイト決済システム関連業務
7. 2025年度予算案作成
8. 財務部会の開催 1回

■学術部

部長 押野 修司

1. 編集委員会、学会支援委員会の事業および学術活動の基盤を整備する。
2. 学術講演会の開催 2回
 - 1) 第1回学術部研修会 2024年11月29日（金） 参加者：81名
 - 2) 第2回学術部研修会 2025年2月28日（金） 参加者：68名
3. 研究支援
 - 1) 倫理審査委員会の設置 未実施
 - 2) 研究相談窓口の設置 県学会演題募集に相談窓口を明示
4. 査読委員会の運営
 - 1) 埼玉作業療法研究投稿論文査読 査読件数8件実施
 - 2) 埼玉県作業療法学会投稿演題査読 査読件数33件実施
5. 学術部会の開催 1回

■編集委員会

委員長 上原 栄一郎

1. 電子ジャーナル「作業療法学芸雑誌」第2巻の発行
2. 電子ジャーナル「作業療法学芸雑誌」第3巻の編集

3. 編集委員会・編集作業部会の開催 1回

■学会支援委員会

委員長 小池 祐士

1. 学会運営マニュアルの作成
2. 学会ウェブサイトの運用
3. 学会事務局の補佐
4. 学会支援委員会の開催 8回

■教育部

部長 鈴木 香織

1. 日本作業療法士協会教育部との連携窓口
2. 日本作業療法士協会生涯教育制度管理の対応
 - 1) 生涯教育制度改定に関する情報提供・対応
 - ①生涯教育制度改定に伴う広報、ホームページ他での情報提供
 - ②広報、ホームページ他での生涯教育制度に関する相談、問い合わせの対応
 - 2) 当県士会主催・共催の学会・研修会ポイントの協会への付与対応
 - 3) 県士会裁量ポイント付与に関する管理
 - 4) 他団体、SIG 団体の認定手続き
2024 年度 0 件
 - 5) 生涯教育制度推進委員会（日本作業療法士協会）出席 3 回
2024 年 5 月 1 日 19:00～21:00 オンライン
2025 年 1 月 11 日 13:20～18:30 TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX
2025 年 1 月 12 日 9:10～12:10 TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX
3. 教育部会の開催 未実施

■生涯教育委員会

委員長 神山 真美

1. 現職者共通研修を開催する。
 - 1) 作業療法生涯教育概論：2024 年 7 月 16 日 69 名
 - 2) 作業療法における協業・後輩育成：2024 年 12 月 11 日 57 名
 - 3) 職業倫理：2024 年 8 月 27 日 65 名

- 4) 保健・医療・福祉と地域支援：2024 年 11 月 28 日 61 名
- 5) 実践のための作業療法研究：2024 年 10 月 25 日 37 名
- 6) 作業療法の可能性：2024 年 8 月 26 日 70 名
- 7) 日本と世界の作業療法の動向：2025 年 1 月 23 日 57 名
- 8) 事例報告と事例研究：2024 年 7 月 22 日 49 名
- 9) 10) 事例検討および事例報告：
 - 2024 年 9 月 27 日 59 名（検討 40 名・報告 19 名）
 - 2024 年 3 月 27 日 42 名（検討 25 名・報告 17 名）
- 2. 現職者選択研修を職能開発事業部と共同開催する。
 - 1) 身体障害領域の作業療法 2024 年 11 月 23 日 55 名
 - 2) 発達障害領域の作業療法 未実施
 - 3) 精神障害領域の作業療法 2025 年 2 月 9 日 31 名
- 3. 生涯教育委員会の開催 2 回

■ 養成教育委員会

委員長 岡部 拓大

- 1. 職能開発事業部と連携して臨床実習指導者講習会を開催した。
 - 第 1 回 2024 年 7 月 20 日・21 日（オンライン） 92 名
 - 第 2 回 2024 年 10 月 19 日・20 日（オンライン） 88 名
 - 第 3 回 2025 年 3 月 1 日・2 日（オンライン） 68 名
- 2. 県内養成校、臨床施設間の連携や情報共有、協業体制の構築を目的とする養成教育検討会の開催 各臨床実習指導者講習会後に 3 回
- 3. 生活行為向上マネジメント推進委員会とのコラボ研修会の開催
 - 2025 年 3 月 18 日 （オンライン） 26 名
- 4. 臨床実習指導者講習会ワーキンググループ会議の開催 6 回

■ 職能開発事業部

部長 藤田 真弓

- 1. 時代の要請に沿った作業療法士の職能開発およびスキルアップに資する研修会等の検討し実施した。具体的には生涯教育制度の再編の情報を確認しながら教育部、生涯教育委員会とともにこれまで行われていた研修会を継続して開催した。
- 2. 生涯教育委員会と現職者選択研修の共同開催

- 1) 現職者共通研修
事例検討・事例報告を開催した。
- 2) 現職者選択研修
「身体障害領域の作業療法」「精神障害領域の作業療法」を開催した。
3. 厚生労働省指定「臨床実習指導者講習会」および養成校連携推進室(埼玉県内養成校の連絡会)、全国リハビリテーション学校協会連絡校と県士会との協議会を養成教育委員会へ移行した。
4. 一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合(SCPA-Japan) 埼玉支部の作業療法士窓口として会議参加と理事会への報告を行った。4回
5. 埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会 委員として会議への参加と理事会への報告を行った。2回
6. 職能開発事業部会の開催 1回

■ 広報部

部長 近森 貴裕

1. 県士会ウェブサイトの管理
2. 県士会ウェブサイト会員専用ページの管理運営
3. インターネット配信「電子定期便」および公式 SNS (Facebook、他) による会員への各種案内・通知とその管理運営
4. 広報誌「彩り」、ウェブページ「活動瓦版」、による市民および他職種への作業療法啓発の推進
5. 作業療法士養成校学生および県士会未入会作業療法士への県士会入会促進に向けた広報活動の推進 県内施設への広報物配布
6. 小・中学生および高校生に向けた作業療法啓発を目的とした広報活動の推進 未実施
7. 既存会員への福利厚生事業の推進 学術部との協業によるリハノメクーポンの配布
8. 埼玉県内の養成校在学中の学生を対象とした研修会等の情報提供の実施および広報部学生サポーターとしての協業
9. クラウドサーバーを活用した県士会業務の効率化推進
10. 広報部会および広報誌、SNS 運営会議の開催 25回

■ 地域リハ推進部

部長 館岡 周平

1. 彩の国リハビリテーションフェスタの開催 1回
(埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会共催事業)

一般の方へのリハビリテーション職の普及啓発事業の実施

2. 埼玉県リハビリテーションマップの運営

(埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会共催事業)

県民及び医療職向けに、リハビリテーションを受けられる施設が検索できる Web サイトを埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会合同で運用する。登録施設数や使用状況などの進捗状況を確認。2025 年度 Web サイトリニューアルに向けた検討を実施。

3. 地域リハ推進部会及び 3 士会運営部による会議の開催 9 回

■ 地域包括ケア推進部

部長 平田 樹伸

1. 人材育成のための研修会の開催

地域ケア会議、介護予防等の地域支援事業に関わる作業療法士の質的向上を目的とした研修会の開催

1) 地域包括ケアシステム専門研修の開催 (三団体共通研修)

埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会および埼玉県リハビリテーション専門職協会との共催による、介護予防および地域ケア会議に関する研修

①介護予防事業に関与する人材育成研修

(1)介護予防基本コース (2 回)

(2)介護予防事業に関与する療法士育成研修 (実務者コース) (2 回)

②地域ケア会議に関与する人材育成研修

(1)地域ケア会議基本コース(2 回)

(2)地域ケア会議に関与する療法士育成研修会 (実務者コース) (2 回)

③実務者ブラッシュアップ研修 (3 回)

④地域リハビリテーション推進事業に関与する

リハ専門職育成研修実践コース (旧中級、上級) 3 回

2) 地域ケア会議および総合事業等の地域支援に関する人材育成研修会 未実施

3) 多職種対象の地域包括ケアシステム研修会ナイトセミナー 1 回

4) 地域包括ケアに資する多職種・社会資源の理解促進研修会 未実施

2. 地域包括ケアシステムに関する行政・地域包括支援センター等他団体への啓発・要請対応活動

1) 埼玉県地域リハビリテーション支援体制整備事業における埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会との連携

- 2) 埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会および埼玉県リハビリテーション専門職協会との連携による地域包括ケアに関する広報活動
- 3) 日本作業療法士協会地域社会振興部地域包括ケア推進班および関東ブロックの各士会との情報共有・連携
3. 地域包括ケア関連事業への参加状況の把握と発信
 - 1) 地域ケア会議、介護予防教室、総合事業、子ども食堂等の視察・援助および現状把握
 - 2) 上記について県士会ホームページや SNS での情報発信
4. 地域包括ケア推進部会の開催 12 回

■ 認知症地域支援推進部

部長 吉田 朋子

1. 人材育成のための研修会の開催
 - 1) 明日から現場に生かせる！認知症がある方の作業・レクリエーション紹介
 日 程：2024 年 12 月 8 日（日）
 会 場：国立障害者リハビリテーションセンター
 講 師：武里病院、和光病院、南飯能病院、蓮田よつば病院、狭山尚寿会病院 OT
 参加者：14 名
 - 2) 認知症の方への支援、家族支援の理解 未実施
 - 3) 認知症の事例検討会（好事例、困難事例の紹介） 未実施
2. 他士会との連携
 - 1) 2024 年 12 月 21 日（土）三重県士会主催研修・情報交換会（みえーる OT）参加
 - 2) 他士会とのコラボ研修の開催：未実施
 - 3) 2024 年 12 月 8 日（日）日本作業療法士協会主催認知症関連研修・情報交換会参加
3. 地域支援、他団体との連携、認知症予防・共生への取り組み
 - 1) オレンジカフェ支援の継続：合計 16 回 県士会員 46 名派遣
 寄居町：お城 de カフェ 春日部市：武里オレンジカフェ
 - 2) 認知症の人と家族の会との連携の継続
 - ①若年のつどい（認知症の人と家族の会との共催）：合計 11 回 県士会員 25 名派遣
 - ②若年性認知症を対象としたスポーツ大会（認知症の人と家族の会、埼玉県との共催）：未実施
 - ③世界アルツハイマーデーに関連するイベントへの支援
 - 3) 認知症に関する講座やイベントへの講師派遣
 認知症フォーラム 2024 in 西部」入間市西武地区地域包括支援センター主催

日 程：2024 年 11 月 16 日（土）

内 容：「あたまと体を元気にする！」をテーマに講義と認知症予防体操を実施

講 師：溝淵綾（益子病院・認知症地域支援推進部）、八木正樹（狭山尚寿会病院・認知症地域支援推進部）

4) これでいいのだバンドとの連携（認知症の人と家族の会主催のオレンジカフェリンカフェとの連携も含む）

4. 認知症地域支援推進部会の開催 12 回

■災害対策部

部長 阪井 之哉

1. 埼玉県災害リハビリテーション会議への参加 6 回

2. 災害医療・リハビリに関する知識と技術の育成・啓発

1) 埼玉県災害リハビリテーション研修会の実施

Basic 2 回：2024 年 7 月 20 日（PT19 名、OT3 名、ST2 名）

2024 年 11 月 23 日（PT14 名、OT11 名、ST1 名）

Advance1 回：2025 年 2 月 24 日（PT20 名、OT6 名、ST0 名）

フォローアップ研修（仮称）未実施

2) 災害リハ通信の配信 2 回配信

3) JIMTEF 災害医療研修（Basic、Advance コース）への参加 Basic コース 1 名参加

3. 災害医療・リハビリテーションに関する団体との連携

1) JRAT（Japan Rehabilitation Assistance Team：日本災害リハビリテーション支援協会）との連携

・2024 年 12 月 7 日 創立 5 周年記念式典・懇談会への参加

2) 日本作業療法士協会災害対策室との連携

・2024 年 9 月 25 日 2024 年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練実施

3) 埼玉 JRAT 規約の策定及び自治体、関連団体との協定締結の検討

・2024 年 11 月 22 日「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」を締結

・2025 年 1 月 21 日 埼玉県災害リハビリテーション支援体制についての協議の会議

・2025 年 1 月 27 日埼玉版 FEMA 図上訓練へオブザーバーとして参加

4. 埼玉県災害リハビリテーションマニュアルの見直し 未実施

5. 大規模災害発生時の対応

・能登半島地震 埼玉 JRAT 支援チーム派遣 11 チーム（39 名うち OT 8 名）

6. 災害対策部会の開催 未実施

■ 制度対策部

部長 石川 麻子

1. 医療保険、介護保険、福祉制度に関する情報収集
2. 会員への医療保険、介護保険、福祉制度に関する情報提供
3. 制度対策部会の開催 未実施

□ ブロック

東部ブロック長 小池 祐士、西部ブロック長 種沢 浩平

南部ブロック長 犬塚 功一、北部ブロック長 分須 陽

■ 東部ブロック

東部ブロック長 小池 祐士

1. 作業療法および作業療法士に関する広報および啓発活動の戦略的展開
 - 1) 県内養成校と連携した高校生および保護者に対する作業療法啓発活動
 - ①夏キャンコラボ 2024 養成校のオープンキャンパスにて
 - ・埼玉県立大学：2024 年 6 月 9 日（日）、8 月 3 日（土）、8 月 4 日（日）
 - 相談会にブロック部員計 9 名を派遣した。
 - 2) オレンジカフェ、若年のつどいへの人材派遣
 - ①春日部市：ふれあいカフェ（認定こども園ふたば・武里団地） 4 回 4 名
 - ②越谷市：若年のつどい越谷（越谷市中央市民会館）4 回 11 名
2. 地域ケア会議・介護予防事業への作業療法士参画に向けた地域リハビリテーション・ケアサポートセンター、埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会との連携および研修会参加促進、市区町村レベルでの体制基盤整備の推進 未実施
3. ブロック組織の強化対策
 - 1) 各部局との連携強化：各部局に対応したブロック内の役割分担化を推進した。
 - 2) ブロック内会員懇談を目的とした研修会（今夜はリモートで語ら Night！）の開催
 - ①脳血管障害の ADL—臨床推論と介入方法—
 - 日 程：2024 年 9 月 28 日（土）
 - 場 所：リハビリテーション医学研究財団
 - 講 師：内藤 大佑 氏（リハビリテーション天草病院）
 - 参加者：22 名
 - ②実は知らない？！社会保障と任意保険
 - 日 程：2024 年 12 月 16 日（月）
 - 方 法：オンライン開催

講 師：第一生命 様

参加者：41 名

③キャリアプランの作り方

日 程：2025 年 1 月 10 日（金）

方 法：オンライン開催

講 師：小貫 早希 氏（聖路加国際病院）

参加者：42 名

④学生と作業療法士とで語ら Night！「今のうちに聞いておけば安心！臨床実習&就職前相談会～実習前や就職前の疑問・不安を作業療法士に聞いてみよう！～」

日 程：2025 年 3 月 17 日（月）

参加者：30 名

4. 会議の開催

1) ブロック長会議の開催 1 回

2) 東部ブロック会議の開催 8 回

■ 西部ブロック

西部ブロック長 種沢 浩平

1. 作業療法および作業療法士に関する広報および啓発活動を戦略的に展開する。

1) 中学生・高校生および保護者に対して作業療法啓発活動を実施する。

県内養成校と連携し、埼玉県教育委員会事業「越境×探究！未来共創プロジェクト」において体験型出張授業を提供する。

・夏キャンコラボ 2024 養成校のオープンキャンパスへの作業療法士派遣

文京学院大学：2024 年 7 月 13 日（土）3 名、

東京家政大学：2024 年 6 月 2 日（日）2 名、7 月 31 日（土）2 名、

8 月 3 日（土）2 名

・「越境×探究！未来共創プロジェクト」においての体験型出張授業

埼玉県教育委員会にプログラムシート提出、HP へ掲載済みだが、2024 年度は申し込みがなく未実施。

2) オレンジカフェ、若年のつどいへの人材派遣

飯能市若年のつどい：2025 年 1 月 25 日 3 名

2. 地域ケア会議・介護予防事業への作業療法士参画に向けて地域リハビリテーション・ケアサポートセンター、埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会と連携し研修会参加を促すとともに、市区町村レベルでの体制基盤整備を推進する。 未実施

3. ブロック組織の強化対策

- 1) 各部局との連携強化：各部局に対応したブロック内の役割分担化を推進した。
- 2) ブロック内会員懇談を目的とした研修会（今夜はみんなで語ら Night！）の開催
テーマ：「隣の『作業』を覗いてみよう～拒否のある方への作業・人生を取り戻した
作業（作業活動・自助具など）」

日 程：2024 年 11 月 15 日（金）

場 所：国立障害者リハビリテーションセンター

参加者：36 名

4. 会議の開催

- 1) ブロック長会議の開催 1 回
- 2) 各ブロック会議の開催 6 回

5. 学生向け臨床実習 & 就職相談会の開催

- 1) 学生に有意義な情報を届けることを目的とした臨床実習 & 就職相談会（今夜は学生
と作業療法士とで語ら Night！）の開催 未実施（東部ブロックにて実施）

■ 南部ブロック

南部ブロック長 犬塚 功一

1. 作業療法および作業療法士に関する広報および啓発活動を戦略的に展開する。

- 1) 中学生・高校生および保護者に対して作業療法啓発活動を実施する。

①夏休み作業療法をもっと知ろう！キャンペーン 2024

上尾中央医療専門学校：2024 年 8 月 25 日（土）

オープンキャンパスへブロック員 2 名を派遣した。

②目白大学学園祭での学生コラボ、作業療法健幸ブースの開設

2024 年 10 月 26 日（日）

学園祭へブロック員 6 名（南部 3 名、北部 1 名、広報部 2 名）を派遣した。

③県内養成校と連携し、埼玉県教育委員会事業「越境×探究！未来共創プロジェクト」において体験型出張授業を提供する。今年度依頼無し

- 2) オレンジカフェ、若年のつどいへの人材派遣 未実施

2. 地域ケア会議・介護予防事業への作業療法士参画に向けて地域リハビリテーション・ ケアサポートセンター、埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会と連携し研修会参加 を促すとともに、市区町村レベルでの体制基盤整備を推進する。 未実施

3. ブロック組織の強化対策

- 1) 各部局との連携強化：各部局に対応したブロック内の役割分担化を推進する。
各種委員会メンバーからの報告時間を確保し、情報共有を行った。

- 2) ブロック内会員懇談を目的とした研修会（今夜はみんなで語ら Night！）の開催
南部ブロック研修会 今夜はみんなで語ら Night！

テーマ：みんなで子どもに関わる OT の話を聞いてみよう

～仕事場・支援内容など～

日 程：2025 年 3 月 10 日（月）

参加者：24 名

4. 会議の開催

- 1) ブロック長会議の開催（夏キャン会議含め） 6 回
2) ブロック会議の開催 8 回

5. 学生向け臨床実習 & 就職相談会の開催

- 1) 学生に有意義な情報を届けることを目的とした臨床実習 & 就職相談会（今夜は学生と作業療法士とで語ら Night！）の開催 未実施

■北部ブロック

北部ブロック長 分須 陽

1. 作業療法および作業療法士に関する広報および啓発活動を戦略的に展開する。

- 1) 中学生・高校生および保護者に対して作業療法啓発活動を実施する。

①夏休み作業療法をもっと知ろう！キャンペーン 2024

日本医療科学大学：2024 年 8 月 4 日(日)

オープンキャンパスへブロック員 11 名を派遣した。

②県内養成校と連携し、埼玉県教育委員会事業「越境×探究！未来共創プロジェクト」において体験型出張授業を提供する。今年度依頼なし

2) オレンジカフェ、若年のつどいへの人材派遣

①深谷市：若年のつどい in 深谷 2 回

②東秩父村：わしのカフェ 12 回

③寄居町：お城 de カフェ 12 回

2. 地域ケア会議・介護予防事業への作業療法士参画に向けて地域リハビリテーション・ケアサポートセンター、埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会と連携し研修会参加を促すとともに、市区町村レベルでの体制基盤整備を推進する。未実施

3. ブロック組織の強化対策

- 1) 各部局との連携強化：各部局に対応したブロック内の役割分担化を推進する。

未実施

2) ブロック内会員懇談を目的とした研修会（今夜はみんなで語ら Night！）の開催

今夜はみんなで北の地で語ら Night 「ラポール形成」～信頼関係を築くために～

日 程：2024 年 5 月 27 日(月)

参加者：14 名

4. 会議の開催

- 1) ブロック長会議の開催（夏キャン会議含め） 6 回
- 2) 各ブロック会議の開催 11 回

5. 学生向け臨床実習 & 就職相談会の開催

学生に有意義な情報を届けることを目的とした臨床実習 & 就職相談会「今夜は学生と作業療法士とで語ら Night！」の開催 未実施

■ 常設委員会

■ 選挙管理委員会

委員長 安永 雅美

1. 役員選挙公示
2. 代議員選挙公示

■ 特設委員会

■ 訪問リハビリテーション振興委員会

委員長 加藤 恒平

1. 訪問リハビリテーションの振興事業

1) 埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会共催事業

①埼玉県リハビリ三団体主催 訪問リハビリテーション実務者研修会

第 13 回ベーシックコースの開催（対面）

日 程：2024 年 11 月 24 日

テーマ：訪問リハビリ卒業に向けた社会参加支援

参加者：16 名（PT：11 名 OT：5 名）

②埼玉県リハビリ三団体主催 訪問リハビリテーション実務者研修会

第 11 回アドバンスコースの開催（オンライン）

日 程：2025 年 2 月 22 日

テーマ：がんのリハビリテーション～在宅における支援の実際と介入ポイント～

参加者：13 名（PT：8 名 OT：5 名）

2) 他職種団体との連携と訪問リハビリテーションの啓蒙

①訪問リハと関わる職種との連携（講師依頼、講師派遣など）

3）訪問リハビリテーションOT専門研修会の開催（オンライン）

日 程：2025年3月2日

テーマ：生活行為向上マネジメントに基づく生活期リハの目標設定

参加者：12人（OT：8人 PT：2人 当事者：1人 学生：1人）

2．訪問リハビリテーション振興委員会の開催 3回

■生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 高橋 啓吾

1．研修会の開催

1）日本作業療法士協会生涯教育制度 現職者選択必修研修「生活行為向上マネジメント基礎研修」の開催 2回

①日程：2024年8月25日(オンライン)

テーマ：生活行為向上マネジメントの概念の理解

参加者：36名

②日程：2024年12月22日(オンライン)

テーマ：生活行為向上マネジメントの概念の理解

参加者：23名

2）生活行為向上マネジメントの事例検討会の開催 2回

日 程：2025年3月9日(オンライン)

テーマ：生活行為向上マネジメントを用いた事例報告

参加者：18名

3）生活行為向上マネジメント事例報告の書き方研修会の開催

日 程：2025年2月12日(オンライン)

テーマ：生活行為向上マネジメントの事例報告の書き方

参加者：20名

4）地域包括ケアシステム推進部とのコラボ研修会の開催 未実施

5）養成教育委員会とのコラボ研修会の開催

日 程：2025年3月18日

テーマ：臨床実習での生活行為向上マネジメントの活用について

参加者：26名

2．他職種への生活行為向上マネジメントの広報活動 未実施

3．生活行為向上マネジメント推進委員会の開催 1回

4．日本作業療法士協会生活行為向上マネジメント推進室の全国会議の参加 3回

■ 子ども支援委員会

委員長 田坂 翔太

1. 研修会の開催

発達領域作業療法士研修会の開催

発達領域を専門としている OT のための研修会（セラピスト養成講座 2024） 1 回

作業科学を通して子どもの作業療法を考える 1 回

2. 小児領域作業療法士メーリングリストの運営

会員内での各種情報共有

メーリングリスト管理 登録者数：135 名

3. 子どもに関わる施設（県内・非会員）に向けたアンケート調査 未実施

4. 特別支援教育に関わる埼玉県作業療法士会担当者の配置・情報共有

1) 日本作業療法士協会 制度対策部 障害保健福祉対策委員会 への協力

2) 他都道府県作業療法士会との情報共有

3) 日本作業療法士協会主催 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会出席 2 回

5. 埼玉県主催「遊具を活用した実践研修」開催協力

県内勤務の作業療法士を講師として派遣

開催回数：20 回

参加人数：延べ 553 人

6. 埼玉県発達障害児支援地域協議会出席 2 回

7. 子ども支援委員会の開催 8 回

8. 「子どもに関わる関係施設（教育・福祉）に作業療法士は何かができるのか？（シンポジウム）」 開催 1 回

■ 福祉機器委員会

委員長 鈴木 康子

1. 日本作業療法士協会の福祉機器関連事業窓口を設置した

2. 国際福祉機器展等における福祉機器に関する情報収集と広報を行った

3. 福祉機器等に関する研修会の開催 未実施

4. さいたま神経難病生活支援の会への協力と研修会の共催 2 回

5. 福祉機器等に関する研修会開催への協力 2 回

6. 福祉機器委員会の開催 4 回

■ 高次脳機能障害地域支援推進委員会

委員長 渡部 慶和

1. 研修会の開催 1 回

日 程：2024 年 10 月 26 日（土）

タイトル：令和 6 年度 高次脳機能障害のある方々への地域支援における関わり

テーマ：高次脳機能障害のある方への地域支援について、高次脳機能障害相談窓口、障害者就労支援センター、就労継続支援 B 型、相談支援事業所でご活躍されている方々から具体的な関わりを紹介

形 式：Zoom によるオンライン形式

参加者：55 名

2. 高次脳機能障害の方々を支援する医療と福祉のオンライン交流会の開催 1 回

日 程：2025 年 1 月 25 日（土）

タイトル：令和 6 年度 高次脳機能障害をもつ方々を支援する医療と福祉の交流会

テーマ：県内家族会の活動紹介

医療機関における高次脳機能障害の方への支援について
グループに分かれて意見交換・交流会

形 式：対面形式

会 場：大宮ソニックシティ 604 会議室

参加者：33 名

3. 地域支援、他団体との連携

1) 埼玉県内の支援団体連携 未実施

2) 家族会主催の研修会・集いなどの支援

2024 年度交流会では、当事者、そのご家族、家族代表にご参加頂きました。

3) 埼玉県高次脳機能障害者支援センター、埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンターとの連携

4. 会議の開催

1) 高次脳機能障害地域支援推進委員会全体会の開催 4 回

2) 研修班会議の開催 8 回

3) アンケート班会議の開催 7 回

■ 運転再開支援委員会

委員長 赤間 公一

1. 日本作業療法士協会の運転再開支援関連事業窓口

日本作業療法士協会からの依頼 0 件

2. 埼玉運転再開支援連絡会のウェブスペース管理

随時実施

3. 運転再開支援関連学会等における情報収集と広報

学会参加 1 件

2024 年 12 月 14 日 第 8 回日本安全運転医療学会

4. 埼玉県内の作業療法士を対象とした事例検討会の開催 未実施

5. 運転再開支援委員会の開催 未実施

■ ころとくらの地域支援推進委員会

委員長 原 裕如

1. 精神科作業療法領域の研修会開催 1 回

日 程：2025 年 3 月 29 日

テーマ：健康の社会的決定要因を通して考える作業療法の役割

－子供の貧困から生じる健康格差－

参加者：14 名

2. こくら OT 室の開催 (Web 開催)

第 15 回こくら OT 室 2024 年 4 月 6 日 参加者 20 名

第 16 回こくら OT 室 2024 年 6 月 1 日 参加者 12 名

第 17 回こくら OT 室 2024 年 8 月 3 日 参加者 11 名

第 18 回こくら OT 室 2024 年 12 月 14 日 参加者 22 名 (対面開催)

3. 他士会で行う「明日から使える！全領域の OT に役立つ！精神科 OT の妙技」へ委員会としての参加

2024 年 6 月 29 日、30 日に大阪にて開催されたが、委員の都合がつかず不参加

4. 第 33 回埼玉県作業療法学会にて「NO SAGYOU NO LIFE～みんなの作品展示会～」を開催した。作品数約 50 点

5. 地域の精神科施設の見学

1 月 27 日川越少年刑務所の方々と情報共有・意見交換会を実施 (施設見学あり)

6. こころとくらの地域支援推進委員会の開催 9 回

7. 彩の国リハビリテーションフェスタにて精神科作業療法のブースを出展

■第 33 回埼玉県作業療法学会

学会長 國友 淳子

1. 開催

期 日：2024 年 7 月 7 日（日）

会 場：国立障害者リハビリテーションセンター

テーマ：どんな時も作業療法～救命 ICU から緩和ケアまで、そして地域へ～

参加者：136 名

2. プログラム

1) 学会長講演

テーマ：どんな時も作業療法～救命 ICU から緩和ケアまで、そして地域へ～

講 師：國友 淳子（埼玉医科大学総合医療センター）

2) 基調講演Ⅰ

テーマ：re(再び・戻す) habilis(ふさわしい・適した)再考

～“わたし”に帰るということ～

講 師：儀賀 理暁（埼玉医科大学総合医療センター）

3) 基調講演Ⅱ

テーマ：急性期リハビリテーションにおける作業療法と先進医療機器との融合

講 師：大林 茂（埼玉医科大学総合医療センター）

4) 一般演題：口述発表 14 件

①学会長賞

受賞者氏名：高橋 啓吾（リハビリテーション天草病院）

演 題 名：脳血管障害により左片麻痺を呈した症例の更衣動作への介入－マーカ
レスモーションキャプチャーを使用した検証－

②特別賞

受賞者氏名：高田 夏美（武里病院）

演 題 名：園芸療法実施環境で意欲向上に差があるか
－実施環境による比較検証－

受賞者氏名：大森 広人（北里大学メディカルセンター）

演 題 名：調理実習と活動量計によるフィードバックによって退院後の活動性が
改善した高齢女性頸椎症脊髄症患者の作業療法

5) 座談会

テーマ：生活に役立つ作業療法を考える～作業療法経験者をお招きして～

講 師：過去に作業療法介入を経験した方 3 名

■ 2024年度 開催研修会一覧（2023年度実績）

開催研修会数 60（62）	参加者総数 2,384名（2,531名）
---------------	----------------------

■ 学術部

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
第1回学術部研修会	2024年11月29日	オンライン	パーキンソン病に対する作業療法	土佐 圭子 氏 埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部 作業療法科 主任	81	学術部
第2回学術部研修会	2025年2月28日	オンライン	対象者のマネジメントに必要な医療保険と介護保険の知識	大内 義隆 氏 東北福祉医療協同組合 仙台事業所 介護事業推進室 室長	68	学術部
参加者合計					149 名	

■ 生涯教育委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
現職者共通研修	2024年7月16日	オンライン	作業療法生涯教育概論	鈴木香織 氏 笠幡病院	69	生涯教育委員会
現職者共通研修	2024年7月22日	オンライン	事例検討と事例報告	野月 夕香理 氏 国立障害者リハビリテーションセンター	49	生涯教育委員会
現職者共通研修	2024年8月26日	オンライン	作業療法の可能性	小池 祐士 氏 埼玉県立大学	70	生涯教育委員会
現職者共通研修	2024年8月27日	オンライン	職業倫理	田島 一美 氏 日本医療科学大学	65	生涯教育委員会
現職者共通研修	2024年9月27日	オンライン	事例検討	堺本 麻紀 氏 国立障害者リハビリテーションセンター	40	生涯教育委員会
				小林 賢 氏 ケアセンター八潮		
				國府田 剛 氏 埼玉医科大学国際医療センター		
現職者共通研修	2024年9月27日	オンライン	事例報告	堺本 麻紀 氏 国立障害者リハビリテーションセンター	19	生涯教育委員会
				小林 賢 氏 ケアセンター八潮		
				國府田 剛 氏 埼玉医科大学国際医療センター		

現職者共通研修	2024年10月25日	オンライン	実践のための作業療法研究	西田 典史 氏 日本医療科学大学	37	生涯教育委員会
現職者選択研修	2024年11月23日	オンライン	身体障害領域の作業療法	斎藤和夫 氏 東京家政大学	55	生涯教育委員会 職能開発事業部
				高橋啓吾 氏 リハビリテーション天草病院		
				國府田 剛 氏 埼玉医科大学国際医療センター		
				水村 翔 氏 埼玉医科大学国際医療センター		
現職者共通研修	2024年11月28日	オンライン	保健医療福祉と地域支援	岡林奈津未 氏 上尾中央総合病院	61	生涯教育委員会
現職者共通研修	2024年12月11日	オンライン	作業療法における協業・後輩育成	伊藤伸 氏 国立障害者リハビリテーションセンター	57	生涯教育委員会
現職者共通研修	2025年1月23日	オンライン	日本と世界の作業療法の動向	野村 健太 氏 目白大学	57	生涯教育委員会
現職者選択研修	2025年2月9日	オンライン	精神障害領域の作業療法	水野 高昌 氏 医療創生大学	31	生涯教育委員会 職能開発事業部 こころくらしの地域支援推進委 員会
				村田 雄一 氏 埼玉県立精神保健福祉センター		
現職者共通研修	2025年3月27日	オンライン	事例検討	野月 夕香理 氏 国立障害者リハビリテーションセンター	25	生涯教育委員会
				小林 賢 ケアセンター八潮		
				神山 真美 氏 上尾中央医療専門学校		
現職者共通研修	2025年3月27日	オンライン	事例報告	野月 夕香理 氏 国立障害者リハビリテーションセンター	17	生涯教育委員会
				小林 賢 ケアセンター八潮		
				神山 真美 氏 上尾中央医療専門学校		
				参加者合計	652 名	

■養成教育委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
第1回 臨床実習指導者講習会	2024年7月20日21日	オンライン	理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論	上原栄一郎 氏 埼玉県立大学	92	養成教育委員会
			臨床実習指導者方法論①	鈴木真子 氏 埼玉県立大学		
			臨床実習指導者方法論②	國田雅史 氏 文京学院大学		
			臨床実習指導者方法論②演習2	國田雅史 氏 文京学院大学		
			臨床実習における管理・運営	伊藤伸 氏 国立障害者リハビリテーションセンター		
			臨床実習における学生評価	神山 真美 氏 上尾中央医療専門学校		
			職業倫理および連携論	藤田真弓 氏 埼玉医科大学国際医療センター		
			臨床実習指導方法論③	小島秀太 氏 霞ヶ関南病院		
			事例報告書の作成	小林幸治 氏 目白大学		
			作業療法参加型臨床実習の理解	石渡香住 氏 日本医療科学大学		
第2回 臨床実習指導者講習会	2024年10月19日20日	オンライン	理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論	笹尾久美子 氏 埼玉県立大学	88	養成教育委員会
			臨床実習指導者方法論①	柴田真美子 氏 埼玉県立大学		
			臨床実習指導者方法論②	岸潤樹 氏 上尾中央医療専門学校		
			臨床実習指導者方法論②演習2	高橋悠 氏 上尾中央医療専門学校		
			臨床実習における管理・運営	伊藤伸 氏 国立障害者リハビリテーションセンター		
			臨床実習における学生評価	神山 真美 氏 上尾中央医療専門学校		
			職業倫理および連携論	藤田真弓 氏 埼玉医科大学国際医療センター		
			臨床実習指導方法論③	金澤真広 氏 在宅リハビリテーションセンター草加		
			事例報告書の作成	野村健太 氏 目白大学		
			作業療法参加型臨床実習の理解	轟成 望 氏 日本医療科学大学		

第3回 臨床実習指導者講習会	2025年3月1日2日	オンライン	理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論	白倉京子 氏 埼玉県立大学	68	養成教育委員会
			臨床実習指導者方法論①	小泉浩平 氏 埼玉県立大学		
			臨床実習指導者方法論②	栗城洋平 氏 文京学院大学		
			臨床実習指導者方法論②演習2	栗城洋平 氏 文京学院大学		
			臨床実習における管理・運営	鈴木香織 氏 笠幡病院		
			臨床実習における学生評価	高橋悠 氏 上尾中央医療専門学校		
			職業倫理および連携論	藤田真弓 氏 埼玉医科大学国際医療センター		
			臨床実習指導方法論③	島田悠気 氏 リハビリテーション天草病院		
			事例報告書の作成	小林幸治 氏 目白大学		
			作業療法参加型臨床実習の理解	狹山泰地 氏 日本医療科学大学		
臨床実習でのMTDLP活用について (生活行為向上マネジメント委員会との合同研修)	2024年1月18日	オンライン	養成校でのMTDLP研修について	岡部拓大 氏 東京家政大学	26	養成教育委員会 生活行為向上マネジメント委員会
			身障分野でのMTDLPの活用について	阿部 祐美 氏 リハビリテーション天草病院		
			発達分野でのMTDLPの活用について	小林 健哉 氏 光の家療育センター		
				参加者合計	274 名	

■ 地域包括ケア推進部

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
地域包括ケアシステム ナイトセミナー	2024年11月28日	オンライン	地域包括ケア推進部主催ナイトセミナー「脳卒中片麻痺当事者が望む支援」	倉持 隆 氏 障害当事者	27	地域包括ケア推進部
埼玉県の地域包括ケアに 関連するリハ専門職研修 介護予防基本コース①	2024年6月22日	オンライン	総合事業・地域づくりによる介護予防事業・地域リハ活動支援事業について（国の取り組み）	阿久澤 直樹 氏 川越リハビリテーション病院	69	地域包括ケア推進部 共催 埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
			総合事業・地域づくりによる介護予防事業・地域リハ活動支援事業について（県の取り組み）	倉林泰士郎 氏 戸田中央リハビリテーション病院		
			通いの場の実践事例の紹介（市町村の取り組み）	城 真介 氏 春日部厚生病院		
			介護予防事業に関係する行政・周辺の関係団体	荒木友希 氏 川越市地域包括支援センターだいとう		
			介護予防事業の実践 身体的フレイルと転倒予防	伏木涼太 氏 介護老人保健施設 瑞穂の里		
			介護予防事業の実践 認知的フレイルと共生の実践	中間 浩一 氏 社会福祉法人 真正会		
			介護予防事業の実践 オーラルフレイルとコミュニケーションの重要性	遠藤智美 氏 戸田中央リハビリテーション病院		
埼玉県の地域包括ケアに 関連するリハ専門職研修 介護予防基本コース②	2024年10月26日	オンライン	総合事業・地域づくりによる介護予防事業・地域リハ活動支援事業について（国の取り組み）	阿久澤 直樹 氏 医療法人瑞穂会	21	同上
			総合事業・地域づくりによる介護予防事業・地域リハ活動支援事業について（県の取り組み）	倉林泰士郎 氏 戸田中央リハビリテーション病院		
			通いの場の実践事例の紹介（市町村の取り組み）	城 真介 氏 春日部厚生病院		
			介護予防事業に関係する行政・周辺の関係団体	荒木友希 氏 川越市地域包括支援センターだいとう		
			介護予防事業の実践 身体的フレイルと転倒予防	伏木涼太 氏 介護老人保健施設 瑞穂の里		
			介護予防事業の実践 認知的フレイルと共生の実践	中間 浩一 氏 小規模多機能型居宅介護グループホーム園 (SONO)		
			介護予防事業の実践 オーラルフレイルとコミュニケーションの重要性	遠藤智美 氏 戸田中央リハビリテーション病院		

地域ケア会議に参与する 療法士育成研修会 基本コース①	2024年7月20日	オンライン	地域包括ケアシステムについて	小名木良太 氏 彩の国東大宮メディカルセンター	43	同上
			地域ケア会議とは	平田 樹伸 氏 埼玉医大総合医療センター		
			地域ケア会議に求められるリハ職の役割 ワークショップ	城 真介 氏 春日部厚生病院		
			地域ケア会議における理学療法士の役割	今村知恵子 氏 関東脳神経外科病院		
			地域ケア会議における作業療法士の役割	武井 伸太郎 氏 さいたま市民医療センター		
			地域ケア会議における言語聴覚士の役割	中島一進 氏 春日部厚生病院春日部厚生病院		
地域ケア会議に参与する 療法士育成研修 基本コース②	2024年11月30日	オンライン	地域包括ケアシステムについて	小名木良太 氏 彩の国東大宮メディカルセンター	27	同上
			地域ケア会議とは	平田 樹伸 氏 埼玉医大総合医療センター		
			地域ケア会議に求められるリハ職の役割 ワークショップ	城 真介 氏 春日部厚生病院		
			地域ケア会議の心構えと実際	額川和彦 氏 上尾中央総合病院		
			地域ケア会議における理学療法士の役割	今村知恵子 氏 関東脳神経外科病院		
			地域ケア会議における作業療法士の役割	武井 伸太郎 氏 さいたま市民医療センター		
			地域ケア会議における言語聴覚士の役割	中島一進 氏 春日部厚生病院春日部厚生病院		
地域リハビリテーション推進事業に 関与するリハ専門職育成研修 (実践コース①)	2024年9月4日	オンライン	自立支援と専門職の役割 ～短期集中支援を創るプロセスとは？～	西田和正 氏 医療経済研究機構 専門研究員 駒井 敦 氏 医療法人真正会 霞ヶ関南病院	54	地域包括ケア推進部 共催 埼玉県リハビリテーション 専門職協会 主催
地域リハビリテーション推進事業に 関与するリハ専門職育成研修 (実践コース①-2)	2025年2月6日	オンライン	①情報提供 埼玉県における短期集中予防サービス（総合 事業：サービス・活動 C）の実施状況や課題等について ②短期集中予防サービス ～企画・運営のすべて～	岡崎 浩之 氏 介護老人保健施設はくあい	70	同上

地域リハビリテーション推進事業に関与するリハ専門職育成研修 (実践コース②)	2024年8月3日	大宮ソニックシティ804号室	「第9期 埼玉県高齢者支援計画を踏まえて、市町村支援する拠点・専門職の役割と行動計画を一緒に考えよう！」	服部真治 氏 医療経済研究機構 研究事業担当部長 西田和正 氏 医療経済研究機構 専門研究員	34	同上
介護予防事業に関与する リハ専門職育成研修 初級実務コース①	2024年7月6日	オンライン	地域づくりによる介護予防事業の具体的な理解とリハ職の役割 実技：準備体操、おもりを使用した体操 ボランティア養成講座の進め方・注意点 住民主体の通いの場をつくるための手順 通いの場へのフォローアップについて		69	地域包括ケア推進部 共催 埼玉県リハビリテーション 専門職協会 主催
介護予防事業に関与する リハ専門職育成研修 初級実務コース②	2024年11月2日	オンライン	介護予防を推進する実務 地域づくりによる介護予防事業の具体的な理解とリハ職の役割 実技：準備体操、おもりを使用した体操 ボランティア養成講座の進め方・注意点 住民主体の通いの場をつくるための手順 通いの場へのフォローアップについて など		30	同上
地域ケア会議に関与する リハ専門職育成研修 初級実務コース①	2024年8月10日	オンライン	地域ケア会議における自立支援の実務 地域包括ケアシステムと専門職の役割 地域ケア会議とは、地域ケア会議の流れ 自立支援型ケアマネジメントと埼玉県の取組等 地域ケア会議の資料の見方 事例検討演習		45	同上

地域ケア会議に関与する リハ専門職育成研修 初級実務コース②	2024年12月14日	オンライン	地域ケア会議における自立支援の実務		22	同上
			地域包括ケアシステムと専門職の役割			
			地域ケア会議とは、地域ケア会議の流れ			
			自立支援型ケアマネジメントと埼玉県の取組等			
			地域ケア会議の資料の見方			
			事例検討演習			
地域包括ケアシステムに関わる 実務者ブラッシュアップ研修①	2024年9月27日	大宮ソニックスシティ 601 会議室	これからの新しいキャリアについて考える 『地域包括支援センター所属のリハ職から学ぶ ～地域で求められる専門職の活動～』	荒木友希 氏 川越市地域包括支援センターだいてう 近藤 剛 氏 川越市機能強化型地域包括支援センター	39	地域包括ケア推進部 共催 埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
地域包括ケアシステムに関わる 実務者ブラッシュアップ研修②	2024年11月22日	オンライン	『市町村を支援するリハ専門職に必要なデータ活用の知識 ～介護予防事業の地域診断、取組評価、効果評価～』	植田拓也 氏 氏 東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター	81	同上
地域包括ケアシステムに関わる 実務者ブラッシュアップ研修③	2025年3月6日	オンライン	地域リハの意味を考える2024 ～埼玉県内の地域リハ活動 報告会～	地域リハ・ケアサポートセンター・協力医療機関の方 (計4名)	45	同上
参加者合計					676 名	

■ 認知症地域支援推進部

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・ファシリテーター	参加者数	開催・協力
明日から現場に生かせる！認知症がある方の作業・レクリエーション紹介・お悩み相談会	2024年12月8日	国立障害者リハビリテーションセンター本館棟 4 階 大会議室	職場紹介・集団活動について・レクリエーション紹介	武里病院、狭山尚寿会病院、南飯能病院、和光病院、蓮田よつば病院の作業療法士	14	認知症地域支援推進部
			質疑応答、お悩み相談会	上記の作業療法士 認知症地域支援推進部員		
				参加者合計	14 名	

■災害対策部

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催
第17回 災害リハビリテーション研修会 Basicコース	2024年7月20日	オンライン	災害医療概論	吉田 和正 氏 デイスサービスセンター よしの	24	災害対策部 共催 埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
			オリエンテーション①	森尻 佐知子 分須 陽 氏 熊谷総合病院		
			災害リハビリテーションの組織と心構え	芝崎 伸彦 氏 狭山神経内科病院		
			災害リハビリテーションの実際～本部活動～	飯塚 雄大 氏 熊谷生協ケアセンター 西澤佑輝 氏 さいたま市民医療センター		
			オリエンテーション②			
			災害リハビリテーションの実際～避難所活動～	島崎 佑輝 氏 霞ヶ関南病院		
			オリエンテーション	森尻 佐知子氏 分須 陽 氏 熊谷総合病院		
第18回 災害リハビリテーション研修会 Basicコース	2024年11月23日	オンライン	災害医療概論	吉田 和正 氏 デイスサービスセンター よしの	26	福利厚生・災害対策部 共催 埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
			オリエンテーション①	森尻 佐知子氏 分須 陽 氏 熊谷総合病院		
			災害リハビリテーションの組織と心構え	芝崎 伸彦 氏 狭山神経内科病院		
			災害リハビリテーションの実際～本部活動～	染谷 光一 氏 埼玉県済生会栗橋病院 飯塚 雄大 氏 熊谷生協ケアセンター		
			オリエンテーション②	森尻 佐知子氏 分須 陽 氏 熊谷総合病院		
			災害リハビリテーションの実際～避難所活動～	島崎 佑輝 氏 霞ヶ関南病院		
			オリエンテーション	森尻 佐知子 氏 分須 陽 氏 熊谷総合病院		

第9回 災害リハビリテーション研修会 Advanceコース	2024年2月17日	埼玉建産連研修センター 200会議室	災害リハ概論	吉田 和正 氏 デイサービスセンター よしの	26	災害対策部 共催 埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
			災害リハビリテーションの実際～本部活動～	飯塚 雄大 氏 熊谷生協ケアセンター		
			避難所活動における活動	畠崎 佑輝 氏 霞ヶ関南病院		
			段ボールベッド作成 簡易トイレ作成			
			クロノロジー説明	今井 哲也 氏 狭山神経内科病院		
			被災地支援のシミュレーション 本部活動、避難所支援	阪井 之哉 氏 霞ヶ関南病院 西澤 佑輝 氏 さいたま市民医療センター		
参加者合計				76 名		

■ブロック

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
東部ブロック研修会 今夜はみんなで語らNight！	2024年9月28日	リハビリテーション医学研究財団	脳血管障害のADL—臨床推論と介入方法—	内藤 大佑 氏 リハビリテーション天草病院	22	東部ブロック
東部ブロック研修会 今夜はリモートで語らNight！	2024年12月16日	オンライン	実は知らない？！社会保障と任意保険	第一生命 様	41	東部ブロック
東部ブロック研修会 今夜はリモートで語らNight！	2025年1月10日	オンライン	キャリアプランの作り方	小貫 早希 氏 聖路加国際病院	42	東部ブロック
東部ブロック研修会 特別編 学生と作業療法士とで 語らNight！	2025年3月17日	オンライン	今のうちに聞いておけば安心！臨床実習&就職前相談 会～実習前や就職前の疑問・不安を作業療法士に聞いて みよう！～	語らNight運営委員	30	東部ブロック
西部ブロック研修会 今夜はみんなで語らNight！	2024年11月15日	国立障害者リハビリテーションセン ター	「隣の『作業』を覗いてみよう～拒否のある方への作 業・人生を取り戻した作業（作業活動・自助具な ど）」	西部ブロック員	36	西部ブロック
南部ブロック研修会 今夜はみんなで語らNight！	2025年3月10日	大宮ソニックシティ	みんなで子どもに関わるOTの話を聞いてみよう ～仕 事場・支援内容など～	江原友樹 氏 こばんはうすくら 石井真智子 氏 一般社団法人CIS space kid's.con 黒田千曉 氏 一般社団法人とまりぎ 土屋佳実 氏 埼玉県立精神医療センター	24	南部ブロック
北部ブロック研修会 今夜はみんなで語らNight！	2024年5月27日	熊谷市立商工会館	今夜はみんなで北の地で語らNight 「ラポール形成」	北部ブロック員	14	北部ブロック
参加者合計					209 名	

■ 訪問リハビリテーション振興委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師	参加者数	開催・協力
第13回訪問リハビリテーション 実務者研修会ベーシックコース	2024年11月24日	プラザウエスト	訪問リハビリ卒業に向けた社会参加支援	森周平 氏 理学療法士 参議院議員秘書 小川政博 氏 社会福祉士・介護支援専門員 高平修二 医師 埼玉医科大学病院	16	埼玉県リハビリ三団体主催 訪問リハビリテーション 振興委員会 共催 共催埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
第4回訪問OT専門研修会	2025年3月2日	オンライン	生活行為向上マネジメントに基づく生活期リハの目標設定	三瓶政行 氏 作業療法士 在宅リハビリテーションセンター草加	12	埼玉県作業療法士会 訪問リハビリテーション 振興委員会
第11回訪問リハビリテーション 実務者研修会アドバンスコース	2025年2月22日	オンライン	がんのリハビリテーション～在宅における支援の実際と介入ポイント～	星野錫 氏 作業療法士 東大宮訪問看護ステーション	13	埼玉県リハビリ三団体主催 訪問リハビリテーション 振興委員会 共催 埼玉県作業療法士会 埼玉県理学療法士会 埼玉県言語聴覚士会
参加者合計					41	名

■生活行為向上マネジメント委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催
MTDLP基礎研修会	2024年8月25日	オンライン	MTDLPの概念の理解	高橋 啓吾 氏 リハビリテーション天草病院	36	MTDLP推進委員会
				三瓶 政行 氏 在宅リハビリテーションセンター草加		
MTDLP基礎研修	2024年12月22日	オンライン	MTDLPの概念の理解	高橋 啓吾 氏 リハビリテーション天草病院	23	MTDLP推進委員会
				根岸 昌 氏 埼玉県総合リハビリテーションセンター		
MTDLP事例報告の書き方研修会	2025年2月12日	オンライン	MTDLPの事例報告の書き方	高橋 啓吾 氏 リハビリテーション天草病院	20	MTDLP推進委員会
MTDLP事例検討会	2025年3月9日	オンライン	MTDLPを用いた事例報告	高橋 啓吾 氏 リハビリテーション天草病院	18	MTDLP推進委員会
				根岸 昌 氏 埼玉県総合リハビリテーションセンター		
				三瓶 政行 氏 在宅リハビリテーションセンター草加		
養成教育委員会×MTDLPコラボ研修	2025年3月18日	オンライン	臨床実習でのMTDLPの活用について	岡部拓大 氏 東京家政大学	26	MTDLP推進委員会
				阿部 祐美 氏 リハビリテーション天草病院		
				小林 健哉 氏 光の家療育センター		
				参加者合計	123 名	

■子ども支援委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催
作業科学を通して子どもの作業療法を考える	2024年6月15日	文京学院大学	講義：作業科学についてのお話 演習：作業科学の視点から症例検討	西方 浩一 氏 文京学院大学 川端 佐代子 氏 University of North Carolina at Chapel Hill 小林 健哉 氏 光の家療育センター	35	子ども支援委員会
子どもに関わる関係施設（教育・福祉） に作業療法士は何ができるのか？ （シンポジウム）	2024年1月19日	埼玉県発達障害者総合支援センター	地域で活躍する作業療法士と関係施設スタッフによるシンポジウム	小川 恵美子 氏 県内の障害児通所支援事業所 特別支援学校	27	子ども支援委員会
				上野 美幸 氏 特定非営利活動法人cosmos （多機能型事業所）代表		
				川田 恵佑 氏 埼玉県立越谷特別支援学校教諭		
				田村 亜維 氏 埼玉県立三郷特別支援学校教諭		
発達領域を専門としている作業療法士のための研修会（セラピスト養成講座 2024）	2024年2月8日 / 9日	埼玉県立大学	発達障害児に対する 作業療法での発達評価、支援技術の向上	小松 則登 氏 愛知県医療療育総合センター中央病院	6	子ども支援委員会
参加者合計					68 名	

■ 高次脳機能障害地域支援推進委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
令和6年度 高次脳機能障害のある 方々への地域支援における関わり	2024年10月26日	オンライン	高次脳機能障害のある方への地域支援について、高次脳機能障害相談窓口、障害者就労支援センター、就労継続支援 B 型、相談支援事業所でご活躍されている方々から具体的な関わりを紹介	矢野 剛寛 氏 春日部厚生病院 高次脳機能障害者相談窓口 稲垣 祐真 氏 特定非営利活動法人 東松山障害者就労支援センター 車田 優樹 氏 就労継続支援 B 型事業所 リブル 富田 はる香 氏 さいたま市 榎の木第 1 やまぶき	55	高次脳機能障害 地域支援推進委員会
令和6年度 高次脳機能障害をもつ方々 を支援する医療と福祉の交流会	2025年1月25日	大宮ソニックシティ604会議室	県内家族会の活動紹介 医療機関における高次脳機能障害の方への支援について グループに分かれて意見交換・交流会	小森 洋子 氏 高次脳機能障害 家族の会さやま 岩田 浩一 氏 春日部 笑おう会 牧田 展慈 氏 医療法人真正会 霞ヶ関南病院	33	高次脳機能障害 地域支援推進委員会
参加者合計					88 名	

■ こころとくらしの地域支援推進委員会

研修会名	開催日程	会場	テーマ	講師・シンポジスト	参加者数	開催・協力
健康の社会的決定要因を通して考える 作業療法の役割 －子どもの貧困から生じる健康格差－	2025年3月29日	ソニックシティ 会議室	貧困から生じる精神・発達面の問題 作業療法士としての役割を考えるディスカッション	趙 吉春 氏 東京家政大学	14	こころとくらしの地域支援 推進委員会
参加者合計					14 名	

■ 認知症の人と家族の会との共催事業

名称	開催回数	延べ参加OT数	開催・協力
若年の集いin越谷	4 回	11 名	認知症の人と家族の会 認知症地域支援推進部 東部ブロック
若年の集いin上尾	4 回	8 名	認知症の人と家族の会 認知症地域支援推進部 南部ブロック
若年の集いin深谷	2 回	3 名	認知症の人と家族の会 認知症地域支援推進部 北部ブロック
若年の集いin飯能	1 回	3 名	認知症の人と家族の会 認知症地域支援推進部 西部ブロック
合計	11 回	25 名	

■ オレンジカフェへの参画

市区町村	名称	開催回数	延べ参加OT数	開催
寄居町	お城deカフェ	12 回	34 名	寄居町社会福祉協議会 地域包括支援センター 北部ブロック、認知症地域支援推進部
春日部市	武里オレンジカフェ	4 回	4 名	武里こども園 ふたば 認知症地域支援推進部、東部ブロック
2市町村	合計	16 回	46 名	

貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在

一般社団法人 埼玉県作業療法士会

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2025年3月期)	前 年 度 (2024年3月期)	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	1,099,124	1,202,063	△ 102,939
普 通 預 金	14,299,131	11,101,568	3,197,563
未 収 会 費 ・ 報 酬	80,000	100,000	△ 20,000
未 収 入 金	0	0	0
前 払 費 用	166,580	102,450	64,130
立 替 金	3,110	0	3,110
仮 払 金	32,998	42,998	△ 10,000
流 動 資 産 合 計	15,680,943	12,549,079	3,131,864
2 固 定 資 産			
ホ ー ム ペ ー ジ 制 作 費	636,350	832,150	△ 195,800
無 形 固 定 資 産 合 計	636,350	832,150	△ 195,800
長 期 前 払 費 用	11,500	23,000	△ 11,500
投資その他の資産合計	11,500	23,000	△ 11,500
固 定 資 産 合 計	647,850	855,150	△ 207,300
資 産 合 計	16,328,793	13,404,229	2,924,564
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	156,830	0	156,830
未 払 金	151,450	170,000	△ 18,550
前 受 会 費	747,000	882,000	△ 135,000
預 り 金	64,354	146,542	△ 82,188
法 人 税 等 引 当 金	70,000	70,000	0
流 動 負 債 合 計	1,189,634	1,268,542	△ 78,908
負 債 合 計	1,189,634	1,268,542	△ 78,908
III 正 味 財 産 の 部			
1 指定正味財産			
指 定 正 味 財 産 合 計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当)	3,000,000	3,000,000	0
2 一般正味財産	9,135,687	8,729,616	406,071
(うち特定財産への充当)	3,003,472	406,071	2,597,401
正 味 財 産 合 計	15,139,159	12,135,687	3,003,472
負債及び正味財産合計	16,328,793	13,404,229	2,924,564

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(單位：円)

37

2023年4月1日から2024年3月31日まで

38

[illegible]

2024年4月1日から2025年3月31日まで

39

[illegible]

財 産 目 録

2025年3月31日現在

一般社団法人 埼玉県作業療法士会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現 金	手元保管	運転資金として	1,099,124
	預 金	普通預金	普通預金合計	14,299,131
	①	ゆうちょ銀行/越生郵便局	No.10350-71751211 (財務部)	461,913
	②	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4354454 (制度対策部)	13,823
	③	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4354439 (生涯教育部)	221,621
	④	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4354447 (福祉機器委員会)	70,052
	⑤	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4354462 (事務局長)	39,972
	⑥	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4354470 (地域リハ推進部)	33,505
	⑦	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4354488 (災害対策部)	9,890
	⑧	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4507382 (生活マシメント委員会)	100,158
	⑨	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4507390 (学会支援委員会)	31,417
	⑩	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4533537 (訪問リハ振興委員会)	182,747
	⑪	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4603108 (地域包括ケア推進部)	201,411
	⑫	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4363900 (財務部)	9,647,691
	⑬	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636827 (総務部)	109,599
	⑭	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636843 (学術部)	205,993
	⑮	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636876 (東部ブロック)	19,299
	⑯	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636884 (西部ブロック)	78,198
	⑰	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636892 (南部ブロック)	66,023
	⑱	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636918 (北部ブロック)	229,773
	⑲	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636926 (職能開発事業部)	94,186
	⑳	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636934 (認知症地域支援推進部)	56,810
	㉑	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4636942 (広報部)	50,023
	㉒	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4641157 (子ども支援委員会)	298,564
	㉓	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4663193 (生涯教育委員会)	30,014
	㉔	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4663201 (養成教育委員会)	50,023
	㉕	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4663219 (埼玉学会)	50,023
	㉖	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4663227 (認知症支援2)	30,014
	㉗	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4672475 (高次脳機能障害地域支援推進委員会)	30,935
	㉘	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4686517 (運転支援委員会)	49,813
	㉙	埼玉りそな銀行/越生毛呂山支店	No.4686509 (こころとくらしの地域支援推進委員会)	65,317
	㉚	住信SBIネット銀行/法人第一支店	No.1648730 (財務部)	1,770,324
	立 替 金	源泉所得税控除未済金	(法人管理部)	3,110
	未 収 報 酬	川越市報酬 2・3月分	(財務部)	80,000
	仮 払 金	大橋幸子他		32,998
	前 払 費 用	事務所家賃他2025年4月以降分		166,580
流 動 資 産 合 計				15,680,943
(無形固定資産)	ホームページ制作費		(広報部)	636,350
	長期前払費用	事務所火災保険料	(法人管理部)	11,500
固 定 資 産 合 計				647,850
資 産 合 計				16,328,793
(流動負債)	未 払 金	川越市認知症事業報酬他	(財務部)	151,450
	医療法人真正会他	県士会費 2025年分	(財務部)	747,000
	前 受 会 費	宇田英幸 報酬・経費等立替分	(法人管理部)	156,830
	短 期 借 入 金	講師等源泉所得税他		64,354
	預 り 金	2025年3月期確定法人税等	(法人管理部)	70,000
流 動 負 債 合 計				1,189,634
負 債 合 計				1,189,634
正 味 財 産				15,139,159

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定率法による減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式で計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

該当はありません。

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当はありません。

4 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	702,843	702,843	0
合 計	702,843	702,843	0

5 繰延資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

繰延資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
ホームページ制作費	1,486,747	1,486,747	0
ホームページ増設改修 (2018年取得)	206,280	206,280	0
会員専用ページ構築 (2023年取得)	979,000	342,650	636,350
合 計	2,672,027	2,035,677	636,350

監事意見書

一般社団法人 埼玉県作業療法士会
会 長 宇田 英幸 殿

意見書作成日 2025 年 5 月 14 日
一般社団法人 埼玉県作業療法士会

監 事 土屋 美樹 

私は、本法人の 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの会計年度の財務諸表を監査し、それを基礎として本法人財産及び業務執行の状況を監査いたしました。

財務諸表の監査にあたっては、私が必要と認めた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果、私は、上記財務諸表が本法人の本会計年度の財政状態及び、収支状況を適正に表示しているものと認めます。

また、本法人の財産と業務執行の状況は、共に良好かつ適正であると認めます。

上記の通り、監事の意見を報告いたします。

以上

監事意見書

一般社団法人 埼玉県作業療法士会
会 長 宇田 英幸 殿

意見書作成日 2025 年 5 月 14 日
一般社団法人 埼玉県作業療法士会

監 事

中野 浩 

私は、本法人の 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの会計年度の財務諸表を監査し、それを基礎として本法人財産及び業務執行の状況を監査いたしました。

財務諸表の監査にあたっては、私が必要と認めた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果、私は、上記財務諸表が本法人の本会計年度の財政状態及び、収支状況を適正に表示しているものと認めます。

また、本法人の財産と業務執行の状況は、共に良好かつ適正であると認めます。

上記の通り、監事の意見を報告いたします。

以上

第3号議案 定款変更の件

代議員選挙の実施時期および任期期日の変更に関する件

本件は、代議員選挙について定款第2章 第5条 第7項を下記の通り変更するものである。

1) 定款変更内容 (別添1. 新旧対照<案> 参照)

<現在の定款>

第2章 社員

【社員の種類】

第5条

7. 第4項の代議員選挙は、2年に1度、6月に実施することとし、代議員の任期は、選任の2年後に実施される代議員選挙の終了の時までとする。ただし、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴え（法人法第266条第1項、第268条、第278条、第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない（当該代議員は、役員選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権を有しないこととする。）。

第2章 社員

【社員の種類】

第5条

7. 第4項の代議員選挙は、2年に1度、3月に実施することとし、代議員の任期は、選任の2年後の期末までとする。ただし、代議員が社員総会決議取消しの訴え、解散の訴え、責任追及の訴え及び役員解任の訴え（法人法第266条第1項、第268条、第278条、第284条）を提起している場合（法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。）には、当該訴訟が終結するまでの間、当該代議員は社員たる地位を失わない（当該代議員は、役員選任及び解任（法人法第63条及び第70条）並びに定款変更（法人法第146条）についての議決権を有しないこととする。）。

2) 定款変更理由等

現在、定款第2章 第5条 第7項 により「代議員選挙は、2年に1度、6月に実施することとし、代議員の任期は、選任の2年後に実施される代議員選挙の終了の時までとする。」と定められている。しかし、現在2年に一度の役員選挙と実施年度および実施月が重なっており、選挙管理委員会および事務局の対応が多忙を極める状況となっている。代議員選挙の実施を3月に変更することで業務の円滑化を図ることが望まれる。また、任期を専任の2年後の期末に変更することで、所属先変更などによるブロック移動や退会による欠員に適切な対応が容易となることが理由である。

第4号議案 理事・監事選任の件

選挙管理委員長 安永 雅美

2025・2026 年度役員改選について

本総会終結時をもって 2023・2024 年度理事および監事任期満了につき、2025 年 3 月 10 日付にて 2025・2026 年度役員選挙の公示を行った。立候補および推薦立候補を 2025 年 4 月 15 日付けにて締め切ったところ、代表理事 1 名、理事 23 名の立候補があった。監事の立候補はなかった。定款施行規則第 3 章第 10 条により、理事会が下記 4 名の理事および 2 名の監事候補者を推薦した結果、定数を満たしたので定款施行規則第 3 章第 20 条により立候補者・理事会推薦候補者とも無投票当選となった。

<立候補者>

(五十音順)

役職名	氏名	勤務先
代表理事	宇田 英幸	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター
理 事	犬塚 功一	株式会社ハート&アート
理 事	伊藤 伸	国立障害者リハビリテーションセンター
理 事	大橋 幸子	文京学院大学
理 事	岡部 拓大	東京家政大学
理 事	押野 修司	埼玉県立大学
理 事	加藤 恒平	株式会社ベルツ 在宅リハビリテーションセンター草加
理 事	北村 ミチル	児童発達支援センター ラボリキッズ
理 事	桑原 陽子	埼玉医科大学国際医療センター
理 事	小池 祐土	埼玉県立大学
理 事	神山 真美	上尾中央医療専門学校
理 事	阪井 之哉	霞ヶ関南病院
理 事	佐々木 竜也	社会福祉法人 東埼玉 中川の郷療育センター
理 事	鈴木 香織	笠幡病院
理 事	高橋 啓吾	リハビリテーション天草病院
理 事	館岡 周平	目白大学
理 事	近森 貴裕	西部総合病院
理 事	種沢 浩平	原田病院

理 事	内藤 大佑	リハビリテーション天草病院
理 事	平田 樹伸	埼玉医科大学総合医療センター
理 事	藤田 真弓	埼玉医科大学国際医療センター
理 事	丸 達也	日本医療科学大学
理 事	吉田 朋子	狭山尚寿会病院
理 事	渡部 慶和	霞ヶ関南病院

<理事会推薦候補者>

(五十音順)

役職名	氏名	勤務先
理 事	赤間 公一	埼玉県総合リハビリテーションセンター
理 事	江原 友樹	こぱんはうすさくら さいたま宮原教室
理 事	鈴木 康子	埼玉県総合リハビリテーションセンター
理 事	原 裕如	狭山ヶ丘病院
監 事	岡田 洋一	埼玉県立小児医療センター
監 事	西田 典史	日本医療科学大学

第5号議案 2025年度事業計画及び当初予算案の件

■2025年度重点活動

会長

『頼られる作業療法、選ばれる作業療法士』

閉塞的だったと言わざるを得ないこの数年間が過去のものとなりつつある。改めて作業療法、作業療法士というもの、そのあり方について考え直し、当会の大目標である作業療法の地域への還元、それによる地域共生社会の実現に向かって邁進したい。

災害支援については県との協定締結がされ、特に県内発災対応について協議が進められる。懸案のままであった倫理委員会も立ち上がる。作業療法士の処遇改善と身分保障に直結する教育体制は、新生涯学習制度として新たな枠組みが設けられる。貴重な地域・現場支援の体験を提供していただいている認知症の人と家族の会との協働は今年で10周年を迎える。新たに求めをいただいた川越少年刑務所での受刑者支援協力は、医療介護保健福祉領域以外、すなわちすべての人々に対する作業療法の有効性を実証する好機になるだろう。

作業療法士という肩書に誇りをもち、社会をよりよくしていこうと立ち向かえるよう、頼られ、選ばれる作業療法、作業療法士の醸成を目指して活動していく。

<重点活動項目>

- 災害支援体制の整備（県内発災対応）
- 地域支援・社会貢献活動の深化
- 作業療法の啓発と学生支援の拡充（学生の士会活動参加・参画強化）
- 処遇改善と身分保障を担保する教育体制の整備
- 作業療法の地域への還元を原動力とした組織力強化

<埼玉県作業療法士会キャッチフレーズ>

「あかるく、たのしく、しなやかに」

「実践の埼玉」

「人心を大切に」

「日本一学生に優しいOT士会」

■事務局

事務局長 大橋 幸子

■法人管理部

部長 大橋 幸子

1. 事業履行の管理・促進
2. 定款・諸規則・規程の整備
3. 法務・財務管理
4. 総会議案書作成
5. 総会及び理事会議事録の作成・保管
6. 監査対応
7. 公文書の発行及び収受管理
8. 委託事業等に関する契約および関連事業の業務管理
9. 地方公共団体および関連団体への対応
10. 作業療法士及び講師派遣事業に係る事務管理
11. 法人加盟・協力団体に関する事業
 - 1) 日本作業療法士協会及び都道府県作業療法士会 48 団体連携協議会
 - 2) 埼玉県リハビリテーション三団体連絡会議
 - 3) 一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会
 - 4) 埼玉県地域リハビリテーション推進協議会
 - 5) 埼玉県多職種連携地域包括ケアシステム推進会議
 - 6) 埼玉県摂食嚥下研究会
12. 関連団体の事業後援、共催に関する業務
13. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携事業に関する業務管理
14. 職員労務管理
15. その他の事務局関連業務
16. 三役会議の開催 3 回
17. 事務局会議の開催 6 回

■総務部

部長 丸 達也

1. 定時社員総会、理事会の開催運営
 - 1) 第 39 回定時社員総会（2025 年 6 月 15 日）
 - 2) 理事会（月 1 回、年間 12 回）
2. 正会員及び賛助会員の募集
3. 会員の入退会及び情報管理

4. 会員名簿管理
5. 電子定期便、その他会員連絡・発送物の管理
6. 求人・求職情報への対応
7. (一社) 日本作業療法士協会会員管理データシステム関連業務
8. 総務部会の開催 2回

■ 財務部

部長 北村 ミチル

1. 2025 年度予算執行についての収支管理及び決算時財務処理
2. 会計帳簿の管理
3. 会費の徴収・督促関連業務
4. 作業療法士及び講師派遣事業の財務管理
5. 福祉総合サービス補償加入関連業務
6. ウェブサイト決済システム関連業務
7. 2025 年度補正予算案および 2026 年度予算案作成
8. 財務部会の開催 2回

■ 部・委員会

■ 学術部

部長 押野 修司

1. 編集委員会、学会支援委員会の事業および学術活動の基盤を整備する。
2. 学術講演会の開催 3回
3. 研究支援
 - 1) 研究倫理審査委員会の設置
 - 2) 研究相談窓口の設置
4. 査読委員会の運営
 - 1) 埼玉作業療法研究投稿論文査読
 - 2) 埼玉県作業療法学会投稿演題査読
5. 学術部会の開催 7回

■ 編集委員会

委員長 上原 栄一郎

1. 電子ジャーナル「作業療法学芸雑誌」2025 年 3 巻 1 号の発行

2. 電子ジャーナル「作業療法学芸雑誌」2026 年 4 巻 1 号の編集
3. 編集委員会・編集作業部会の開催 1 回

■学会支援委員会

委員長 小池 祐士

1. 学会運営マニュアルの作成
2. 学会ウェブサイトの運用
3. 学会事務局の補佐
4. 学会支援委員会の開催 6 回

■教育部

部長 鈴木 香織

1. 日本作業療法士協会教育部との連携窓口
2. 日本作業療法士協会生涯教育制度管理の対応
 - 1) 新生涯学修制度に関する情報提供・対応
 - ①新生涯学修制度に伴う広報、ホームページ他での情報提供
 - ②広報、ホームページ他での生涯学修制度に関する相談、問い合わせの対応
 - 2) 当県士会主催・共催の学会・研修会ポイントの協会への付与対応
 - 3) 県士会裁量ポイント付与に関する管理
 - 4) 他団体、SIG 団体の認定手続き
 - 5) 生涯教育制度推進委員会（日本作業療法士協会）出席
3. 教育部会の開催 1 回

■生涯教育委員会

委員長 神山 真美

1. 現職者共通研修を開催する。
 - 1) 作業療法生涯教育概論：上半期中の開催を予定
 - 2) 作業療法における協業・後輩育成：2025 年 12 月
 - 3) 職業倫理：上半期中の開催を予定
 - 4) 保健・医療・福祉と地域支援：2025 年 11 月
 - 5) 実践のための作業療法研究：2025 年 9 月
 - 6) 作業療法の可能性：2025 年 8 月

- 7) 日本と世界の作業療法の動向：2026 年 1 月
- 8) 事例報告と事例研究：2025 年 7 月
- 9) 10) 事例検討および事例報告：2025 年 7 月・11 月・2026 年 3 月
- 2. 現職者選択研修を職能開発事業部と共同開催する。
 - 1) 身体障害領域の作業療法 2025 年 10 月
 - 2) 発達障害領域の作業療法 2025 年 6 月
 - 3) 精神障害領域の作業療法 2026 年 2 月
- 3. 生涯教育委員会の開催 5 回

■ 養成教育委員会

委員長 岡部 拓大

- 1. 厚生労働省指定「臨床実習指導者講習会」の開催 2 回（必要に応じて 3 回）

日程：2025 年 7 月 26 日（土）・27 日（日）

2025 年 12 月 13 日（土）・14 日（日）
- 2. 県内養成校、臨床施設間の連携や情報共有、協業体制の構築を目的とする養成教育検討会の開催 1 回
- 3. 生活行為向上マネジメント推進委員会とのコラボ研修会の開催 1 回
- 4. 臨床実習指導に関する研修会（ハラスメント研修）の開催 1 回
- 5. 臨床実習指導者講習会ワーキンググループ会議の開催 6 回

■ 職能開発事業部

部長 藤田 真弓

- 1. 時代の要請に沿った作業療法士の職能開発およびスキルアップに資する研修会等の検討を行い、開催する。
- 2. 生涯教育委員会と現職者選択研修の共同開催

「身体障害領域の作業療法」「精神障害領域の作業療法」「発達障害領域の作業療法」を、生涯教育委員会とともに開催する。
- 3. 職能開発事業部会の開催 2 回

■ 広報部

部長 近森 貴裕

- 1. 県士会ウェブサイトの管理運営
- 2. 県士会ウェブサイト会員専用ページの管理運営
- 3. インターネット配信「電子定期便」および公式 SNS（Instagram、他）による会員への

各種案内・通知とその管理運営

4. 広報誌「彩り」、ウェブページ「活動瓦版」、による市民および他職種への作業療法啓発の推進
5. 作業療法士養成校学生および県士会未入会作業療法士への県士会入会促進に向けた広報活動の推進
6. 小・中学生および高校生に向けた作業療法啓発を目的とした広報活動の推進
7. 既存会員への福利厚生事業の推進
8. 埼玉県内の作業療法士養成校学生を対象とした研修会等の情報提供の実施および広報部学生サポーターとの協業
9. クラウドサーバーを活用した県士会業務の効率化推進
10. 広報部会および広報誌、SNS 運営会議の開催 36 回
11. 各部局の広報担当者および自施設で広報に関わっている会員との座談会開催 2 回

■地域リハ推進部

部長 館岡 周平

1. 彩の国リハビリテーションフェスタの開催 1 回
埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会共催事業のため開催まで三士会合同会議（10 回）にて打合せを実施
2. 埼玉県リハビリテーションマップの運営
（埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会共催事業）
県民及び医療職向けに、リハビリテーションを受けられる施設が検索できる Web サイトを埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会合同で運用する
3. 地域リハ推進部会の開催 4 回

■地域包括ケア推進部

部長 平田 樹伸

1. 人材育成のための研修会の開催
地域ケア会議、介護予防等の地域支援事業に関わる作業療法士の質的向上を目的とした研修会の開催
 - 1) 地域包括ケアシステム専門研修の開催（三団体共通研修）
埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会および埼玉県リハビリテーション専門職協会との共催による、介護予防および地域ケア会議に関する研修
 - ①介護予防事業に関与する人材育成研修
 - (1)介護予防基本コース 2 回

- (2)介護予防事業に関与する療法士育成研修（実務者コース） 2回
- ②地域ケア会議に関与する人材育成研修
 - (1)地域ケア会議基本コース 2回
 - (2)地域ケア会議に関与する療法士育成研修会（実務者コース） 2回
- ③実務者フォローアップ研修 3回
- ④中級研修 2回
- ⑤上級研修 1回
- 2) 地域ケア会議および総合事業等の地域支援に関する人材育成研修会 1回
- 3) 多職種対象の地域包括ケアシステム研修会ナイトセミナー 1回
- 4) 地域包括ケアに資する多職種・社会資源の理解促進研修会 1回
- 2. 地域包括ケアシステムに関する行政・地域包括支援センター等他団体への啓発・要請対応活動
 - 1) 埼玉県地域リハビリテーション支援体制整備事業における埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会との連携
 - 2) 埼玉県理学療法士会、埼玉県言語聴覚士会および埼玉県リハビリテーション専門職協会との連携による地域包括ケアに関する広報活動
 - 3) 日本作業療法士協会地域社会振興部地域包括ケア推進班および関東ブロックの各士会との情報共有・連携
- 3. 地域包括ケア関連事業への参加状況の把握と発信
 - 1) 地域ケア会議、介護予防教室、総合事業、子ども食堂等の視察・援助および現状把握
 - 2) 上記について県士会ホームページや SNS での情報発信
- 4. 地域包括ケア推進部会の開催 12回

■認知症地域支援推進部

部長 吉田 朋子

- 1. 人材育成のための研修会の開催
 - 1) 認知症の事例検討会（好事例、困難事例の紹介）
 - 2024 年度事業計画未実施であったものを 2025 年 4 月 24 日に開催した。
 - 2) 認知症の方への支援、家族支援の理解
 - 2024 年度事業計画未実施であったものを 2025 年 5 月 22 日に開催した。
 - 3) 認知症の基礎、認知症作業療法の概要についての研修 1回
 - 4) 認知症の事例検討、お悩み相談会の研修 1回

2. 他士会との連携

1) 他士会主催研修・情報交換会への参加

- ・内容：他士会の取り組みを共有し、地域支援への取り組みの理解と発展を目指す

2) 日本作業療法士協会主催認知症関連研修会、情報交換会への参加

- ・地域支援活動の先駆的取り組みを実施している他士会との情報交換の場とする

3. 地域支援、他団体との連携、認知症予防・共生への取り組み

1) オレンジカフェ支援の継続

2) 認知症の人と家族の会との連携の継続

若年のつどい（認知症の人と家族の会との共催）：県内4カ所で年合計12回開催

3) 認知症に関する講座やイベントへの講師派遣

4) これでいいのだバンドとの連携

4. 認知症地域支援推進部会の開催 12回

■ 災害対策部

部長 阪井 之哉

1. 埼玉県災害リハビリテーション会議への参加

2. 災害医療・リハビリに関する知識と技術の育成・啓発

1) 埼玉県災害リハビリテーション研修会の実施

Basic 2回、Advance 1回、フォローアップ研修（仮称）1回

2) 災害リハ通信の配信

3) JIMTEF 災害医療研修（Basic、Advance コース）への参加 各1回

3. 災害医療・リハビリテーションに関する団体との連携

1) JRAT（Japan Rehabilitation Assistance Team：日本災害リハビリテーション支援協会）との連携

2) 埼玉県との連携：マニュアル作成、埼玉版 FEMA 図上訓練への参加、その他

3) 日本作業療法士協会災害対策室との連携

4. 埼玉県災害リハビリテーションマニュアルの見直し

5. 大規模災害発生時の対応

6. 災害対策部会の開催 2回

■ 制度対策部

部長 江原 友樹

1. 医療保険、介護保険、福祉制度に関する情報収集

2. 会員への医療保険、介護保険、福祉制度に関する情報提供

3. 制度対策部会の開催 2回

□ ブロック

東部ブロック長 内藤 大佑、西部ブロック長 種沢 浩平

南部ブロック長 犬塚 功一、北部ブロック長 桑原 陽子

1. 作業療法および作業療法士に関する広報および啓発活動を戦略的に展開する。
 - 1) 県内養成校と連携し、中学生・高校生および保護者に対して作業療法啓発活動として、夏休み作業療法キャンペーン（夏キャン）の実施および埼玉県教育委員会事業「越境×探究！未来共創プロジェクト」において体験型出張授業の提供を行う。
 - 2) オレンジカフェ、若年のつどいへの人材派遣
2. ブロック組織の強化対策
 - 1) 各部局との連携強化：各部局に対応したブロック内の役割分担化を推進する。
 - 2) ブロック内会員懇談を目的とした研修会（今夜はみんなで語ら Night！）の開催
3. 会議の開催
 - 1) ブロック長会議の開催
 - 2) 各ブロック会議の開催
4. 学生向け臨床実習＆就職相談会の開催
 - 1) 学生に有意義な情報を届けることを目的とした臨床実習＆就職相談会（今夜は学生と作業療法士とで語ら Night！）の開催

■ 常設委員会

■ 選挙管理委員会

委員長 安永 雅美

1. 2025・2026 年度役員選挙の実施
2. 2025・2026 年度代議員選挙の実施

■ 倫理委員会

委員長 伊藤 伸

1. 日本作業療法士協会倫理委員会との連携・情報共有
2. 倫理相談への対応
3. 倫理問題事案への対応
4. 埼玉県作業療法士会倫理に関する規程（仮）策定

5. 日本作業療法士協会および他県士会倫理担当者との情報交換 2回
6. 会員の倫理向上に資する研修会開催 1回
7. 倫理委員会の開催 4回

■特設委員会

■訪問リハビリテーション振興委員会

委員長 加藤 恒平

1. 訪問リハビリテーションの振興事業
 - 1) 埼玉県作業療法士会・埼玉県理学療法士会・埼玉県言語聴覚士会共催事業
 - ①埼玉県リハビリ三団体主催 訪問リハビリテーション実務者研修会
第14回ベーシックコースの開催
 - ②埼玉県リハビリ三団体主催 訪問リハビリテーション実務者研修会
第12回アドバンスコースの開催
 - 2) 他職種団体との連携と訪問リハビリテーションの啓蒙
 - ①訪問リハと関わる職種との連携（講師依頼、講師派遣など）
 - 3) 訪問リハビリテーションOT専門研修会の開催
OTの専門性を必要とする訪問分野の各論について 1回
コロナ禍ではオンライン開催、可能であれば実技研修開催
2. 訪問リハビリテーション振興委員会の開催 5回

■生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 高橋 啓吾

1. 研修会の開催
 - 1) 日本作業療法士協会生涯教育制度 現職者選択必修研修「生活行為向上マネジメント基礎研修」の開催 2回
 - 2) 生活行為向上マネジメント事例検討会の開催 2回
 - 3) 生活行為向上マネジメント事例報告の書き方研修会の開催 2回
 - 4) 地域包括ケアシステム推進部、高次脳機能地域支援推進委員会とのコラボ研修会の開催 1回
 - 5) 養成教育委員会とのコラボ研修会の開催 1回
2. 生活行為向上マネジメント推進委員会の開催 1回
3. 日本作業療法士協会 MTDLP 推進室の全国会議の参加 3回

■子ども支援委員会

委員長 佐々木 竜也

1. 研修会の開催

発達領域を専門としている作業療法士研修会の開催 1回

現職者選択研修（発達障害領域の作業療法）の開催 1回（共同開催）

2. 小児領域作業療法士メーリングリストの運営

会員内での各種情報共有およびメーリングリスト管理

3. 子どもに関わる作業療法士と多職種連携ネットワーク構築シンポジウムの開催

4. 特別支援教育に関わる埼玉県作業療法士会担当者の配置・情報共有

1) 日本作業療法士協会 制度対策部 障害保健福祉対策委員会 への協力

2) 他都道府県作業療法士会との情報共有

5. 埼玉県主催「遊具を活用した実践研修」開催協力

6. 埼玉県発達障害児支援地域協議会出席

7. 子ども支援委員会の開催 10回

■福祉機器委員会

委員長 鈴木 康子

1. 日本作業療法士協会の福祉機器関連事業窓口

2. 国際福祉機器展等における福祉機器に関する情報収集と広報

3. 福祉機器等に関する研修会の開催 1回

4. さいたま神経難病生活支援の会への協力と研修会の共催

5. 福祉機器等に関する研修会開催への協力

6. 福祉機器委員会の開催 5回

■高次脳機能障害地域支援推進委員会

委員長 渡部 慶和

1. オンライン形式またはオンデマンド配信による研修会の開催 1回

2. エリアミーティング（地域ごとの交流会）の開催 1回

3. 地域支援、他団体との連携

1) 埼玉県内の支援団体連携

2) 家族会主催の研修会・集いなどの支援

3) 埼玉県高次脳機能障害者支援センター、埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンターとの連携

4. 会議の開催

1) 高次脳機能障害地域支援推進委員会全体会の開催 4回

- 2) 研修班会議の開催 6 回
- 3) アンケート班会議の開催 6 回

■ 運転再開支援委員会

委員長 赤間 公一

1. 日本作業療法士協会の運転再開支援関連事業窓口
2. 埼玉運転再開支援連絡会のウェブスペース管理
3. 運転再開支援関連学会等における情報収集と広報
4. 埼玉県内の作業療法士を対象とした事例検討会の開催（11 月） 1 回
5. 運転再開支援委員会の開催 4 回

■ こころとくらしの地域支援推進委員会

委員長 原 裕如

1. 精神科作業療法領域の研修会開催 1 回
2. こころ OT 室の開催（Web 開催） 3 回
3. 他士会で行う「明日から使える！全領域の OT に役立つ！精神科 OT の妙技」へ委員会として参加する
4. 第 34 回埼玉県作業療法学会にて「**NO SAGYOU NO LIFE～みんなの作品展示会～**」の運営
5. 川越少年刑務所における福祉的支援過程（DH・DM）対象者への作業療法プログラム講師派遣 21 回
6. リハフェスタへの参加
7. こころとくらしの地域支援推進委員会の開催 16 回

■第 34 回埼玉県作業療法学会

学会長 高橋 啓吾

1. 開催

期 日：2025 年 6 月 29 日（日）

会 場：埼玉県立大学

テーマ：対象者のために、私のために、今日が私の分岐点

2. プログラム

1) 学会長講演

テーマ：MTDLP の今までの 10 年とこれからの 10 年

講 師：高橋 啓吾（リハビリテーション天草病院）

2) 基調講演 I

テーマ：今後の作業療法士に必要なこと

講 師：山本 伸一（日本作業療法士会 会長）

3) 基調講演 II

テーマ：地域包括ケアシステムと作業療法

講 師：村井 千賀（石川県立こころの病院）

4) 領域セミナー

テーマ：身体障害領域,精神障害領域,発達障害領域

講 師：山本伸一（身体障害）、村井千賀（精神障害）、神作一実（発達障害）

5) 一般演題（ポスター発表）

■ 2025年度予算案

自 2025年4月 1日
至 2026年3月31日

(収入の部)

勘 定 科 目		予 算 額	備 考
大科目	小科目		
会費収入	計	13,050,000	
	正会員費収入	13,050,000	2025年度会費9000円×1450名
	賛助会員費収入	0	
事業収入	計	3,810,000	
	広告費収入	10,000	広告掲載料
	研修会収入	3,000,000	研修会参加費等
	その他の収入	800,000	川越市事業委託料、埼玉県リハビリテーション専門職協会事務委託料等
雑収入	計	10,000	
	雑収入	10,000	利子、事務手数料
収 入 計		16,870,000	
繰越額		15,139,159	
収入合計 (A)		32,009,159	

(支出の部)

金額単位：円

勘定科目			予算額	備 考
大科目	中科目	小科目		
事業費	事務局	計	9,769,000	
	法人管理部	事業費計	1,614,000	
		福利厚生費	15,000	職員福利厚生費
		広告宣伝費	20,000	求人広告等
		会議費	150,000	三役会議等会議「会議研修手当」、「会務作業手当」等
		旅費交通費	200,000	事務職員交通費 社員総会交通費
		通信運搬費	300,000	切手、送料
		消耗品費	200,000	事務用品等、冷蔵庫購入
		印刷費	150,000	資料コピー、封筒印刷等
		渉外費	100,000	式典祝い金 社協年会費 祝電等
		賃借料	10,000	会議室賃貸料等
		諸謝金	18,000	講師派遣事業謝金
		委託費	450,000	会計士・司法書士報酬、セコム
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
		管理費計	5,105,000	
		給料手当	3,200,000	事務職員給与
		退職金	530,000	事務職員退職金
		福利厚生費	550,000	事務職員社会保険料
		減価償却費	0	
		水道光熱費	70,000	事務所光熱水費
		支払保険料	30,000	埼玉県社協 福祉総合保障
		租税公課	75,000	法人税、市県民税、消費税、収入印紙他
		分担金	50,000	(一社) 埼玉県摂食嚥下研究会、全国リハ支援事業、県社協
		地代家賃	600,000	事務所家賃 駐車場 更新料
	総務部	事業費計	1,221,000	
		福利厚生費	5,000	会議運営員弁当代
		広告宣伝費	5,000	夏キャンペーン関連費用他
		会議費	400,000	理事会、部会、他会議「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	30,000	理事会他会議、役員活動等交通費
		通信運搬費	400,000	定期刊行物、各種案内、高校宛印刷物他発送代
		消耗品費	150,000	PC、PC周辺機器、事務用品代
		備品費	0	
		印刷費	180,000	総会議案啓、高校宛ポスター他印刷代
		渉外費	20,000	履弔費、表彰他
		賃借料	30,000	総会、理事会他会場賃借料
		諸謝金	0	
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	財務部	事業費計	1,829,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	20,000	部会・監査等会議費 「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	2,000	財務業務他交通費
		通信運搬費	20,000	振込票、督促状他発送代
		消耗品費	70,000	事務用品代、PC、PC周辺機器
		印刷費	5,000	振込票、督促状他印刷代
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		支払保険料	12,000	川越市事業派遣OT総合補償費等
		諸謝金	600,000	川越市初期認知症支援事業
		委託費	950,000	会費自動振替、オンライン決済代行システム、りそな決済、りそなダイレクト
		雑費	150,000	銀行引き出し、振り込み手数料

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	学術部	計	850,000	
	学術部	事業費計	501,000	
		福利厚生費	15,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	0	
		会議費	45,000	「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	170,000	部会、講師交通費、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	5,000	郵送費他
		消耗品費	5,000	事務用品代
		印刷費	5,000	資料コピー代
		渉外費	5,000	講師接待他
		賃借料	105,000	会場代、機器賃借料
		諸謝金	145,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	編集委員会	事業費計	282,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	0	「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	0	
		通信運搬費	1,000	郵送費等
		消耗品費	0	
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	0	
		会報費	280,000	J-STAGEアップロード及び組版依頼費用等
		雑費	1,000	振り込み手数料等
	学会支援委員会	事業費計	67,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	54,000	「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	6,000	部会等交通費
		通信運搬費	1,000	郵送費他
		消耗品費	5,000	事務用品代
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	0	
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	教育部	計	2,034,000	
	教育部	事業費計	35,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	10,000	「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	5,000	
		通信運搬費	3,000	連絡通信費
		消耗品費	5,000	事務用品代
		印刷費	1,000	資料印刷等
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	10,000	「新生涯学修制度」説明会講師謝金等
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	生涯教育委員会	事業費計	725,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	70,000	会議研修手当等
		旅費交通費	20,000	研修会講師・運営スタッフ交通費等
		通信運搬費	0	
		消耗品費	0	
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	634,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	養成教育委員会	事業費計	1,274,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	60,000	接続テスト含む会議研修手当等
		旅費交通費	0	
		通信運搬費	3,000	連絡通信費
		消耗品費	10,000	事務用品代
		印刷費	200,000	実習指導者講習資料代他
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	1,000,000	世話人謝礼
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	部	計	3,502,000	
	職能開発事業部	事業費計	26,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	25,000	会議研修手当等
		旅費交通費	0	
		通信運搬費	0	
		消耗品費	0	
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	0	
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	広報部	事業費計	1,783,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	900,000	webサイト改修、メンテナンス、電子定期便関連経費
		会議費	420,000	会議研修・会務作業手当等
		旅費交通費	6,000	会議等交通費
		通信運搬費	75,000	郵便料金、運送料、電話料金、通信料金
		消耗品費	3,000	事務用品代
		印刷費	70,000	文書、チラシ、ポスター等外部委託印刷代、コピー代
		渉外費	5,000	手土産代等
		賃借料	0	
		諸謝金	12,000	原稿料等
		委託費	290,000	オンデマンド（vernio）（Adobeコンプ、イラストレータ）クラウドサーバー（Xdrive2年）
		雑費	2,000	銀行引き出し、振り込み手数料

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	地域リハ推進部	事業費計	340,000	
		福利厚生費	12,000	リハフェスタ運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	20,000	リハフェスタ関連経費
		会議費	62,000	会議研修手当、会務作業手当等
		旅費交通費	20,000	部会会議、リハフェスタ等交通費
		通信運搬費	70,000	地域リハマップ複製費用
		消耗品費	10,000	事務用品代
		印刷費	70,000	資料コピー、印刷等
		渉外費	0	
		賃借料	60,000	リハフェスタ会場賃借料等
		諸謝金	15,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	地域包括ケア推進部	事業費計	478,000	
		福利厚生費	7,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	0	
		会議費	200,000	会議研修手当等
		旅費交通費	20,000	部会、研修会運営スタッフ・講師交通費他
		通信運搬費	5,000	連絡通信、送料他
		消耗品費	5,000	事務用品等
		印刷費	20,000	資料印刷他
		渉外費	10,000	手土産代、講師接待費
		賃借料	60,000	研修会会場費
		諸謝金	150,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	認知症地域支援推進部	事業費計	544,000	
		福利厚生費	6,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	0	
		会議費	280,000	会議研修手当、会務作業手当、オレンジカフェ・若年のつどいの派遣等
		旅費交通費	150,000	部会、研修会運営スタッフ、講師交通費、カフェ・つどい参加交通費等
		通信運搬費	2,000	連絡通信費
		消耗品費	5,000	事務用品代、PC周辺機器 オレンジカフェ作業用品
		印刷費	0	
		渉外費	10,000	講師接待 オレンジカフェ飲食代
		賃借料	40,000	会場費
		諸謝金	50,000	講師謝金、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	災害対策部	事業費計	306,000	
		福利厚生費	25,000	研修会運営スタッフ弁当代、JIMTEF研修会費
		広告宣伝費	0	
		会議費	58,000	会議研修手当等
		旅費交通費	50,000	部会、講師交通費「令和6年能登半島地震 JRAT活動検証・研修会」交通費等
		通信運搬費	0	
		消耗品費	2,000	事務用品代、PC周辺機器
		印刷費	20,000	資料印刷費
		渉外費	0	
		賃借料	30,000	研修会会場賃借料等
		諸謝金	120,000	講師謝金、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	制度対策部	事業費計	25,000	
		福利厚生費	5,000	研修会等参加費
		広告宣伝費	0	
		会議費	6,000	会議研修手当等
		旅費交通費	5,000	研修会参加費等交通費
		通信運搬費	2,000	迎絡通侶費、オンライン研修関連費用
		消耗品費	3,000	事務用品代
		印刷費	4,000	会議資料代
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	0	
		委託費	0	
		雑費	0	
	ブロック	計	1,017,000	
	東部ブロック	事業費計	323,000	
		福利厚生費	7,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	70,000	夏キャン関連費用
		会議費	100,000	会議研修手当等
		旅費交通費	10,000	ブロック会議、講師、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	5,000	研修会迎絡等
		消耗品費	5,000	事務用品費
		印刷費	5,000	コピー・資料作成代他
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	120,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	西部ブロック	事業費計	287,000	
		福利厚生費	10,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	55,000	夏キャン関連費用
		会議費	156,000	会議研修手当等
		旅費交通費	19,000	ブロック会議、講師交通費、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	0	
		消耗品費	5,000	事務用品費
		印刷費	1,000	研修会資料他コピー、印刷代
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	40,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	南部ブロック	事業費計	206,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	45,000	夏キャン関連費用
		会議費	90,000	会議研修手当等
		旅費交通費	20,000	ブロック会議、講師、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	0	
		消耗品費	5,000	事務用品費
		印刷費	5,000	研修会資料他コピー、印刷代
		渉外費	0	
		賃借料	20,000	会場費
		諸謝金	20,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	北部ブロック	事業費計	201,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	60,000	夏キャン関連費用
		会議費	70,000	会議研修手当等
		旅費交通費	15,000	ブロック会議、講師、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	5,000	研修会連絡関係
		消耗品費	5,000	事務用品費
		印刷費	5,000	研修会資料他コピー、印刷代
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	40,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	常設委員会	計	464,000	
	選挙管理 委員会	事業費計	391,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	10,000	「会議研修手当」「会務作業手当」等
		旅費交通費	5,000	業務交通費等
		通信運搬費	300,000	選挙公示郵送費
		消耗品費	5,000	事務用品代
		印刷費	70,000	選挙公示印刷代
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	0	
		委託費	0	
		雑費	1,000	振り込み手数料等
	倫理委員会	事業費計	73,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	42,000	会議研修手当、会務作業手当等
		旅費交通費	0	
		通信運搬費	0	
		消耗品費	0	
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	0	
		諸謝金	30,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	特設委員会	計	2,683,000	
	訪問リハビリ テーション 振興委員会	事業費計	130,000	
		福利厚生費	5,000	研修会運営スタッフ昼食代等
		広告宣伝費	0	
		会議費	16,000	会議研修手当等
		旅費交通費	10,000	委員会、講師、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	0	
		消耗品費	0	
		印刷費	1,000	会議資料印刷費等
		渉外費	0	
		賃借料	15,000	研修会場賃借料
		諸謝金	30,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	0	
		分担金	53,000	訪問リハビリテーション研修会開催分担金

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	生活行為向上 マネジメント 推進委員会	事業費計	411,000	
		福利厚生費	10,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	0	
		会議費	40,000	会議研修手当等
		旅費交通費	10,000	研修会講師・運営スタッフ交通費等
		通信運搬費	0	
		消耗品費	0	
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	50,000	研修会会場賃借料
		諸謝金	300,000	講師謝金、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	子ども支援 委員会	事業費計	651,000	
		福利厚生費	25,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	0	
		会議費	140,000	会議研修手当等
		旅費交通費	70,000	委員会、研修会運営スタッフ交通費、講師宿泊費他
		通信運搬費	5,000	連絡通信費
		消耗品費	5,000	事務用品代
		印刷費	5,000	研修会資料印刷代等
		渉外費	15,000	講師接待費
		賃借料	30,000	会場費他
		諸謝金	350,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
		支払保険料	5,000	研修会協力者加入保険料
	福祉機器 委員会	事業費計	172,000	
		福利厚生費	15,000	研修会運営スタッフ弁当代
		広告宣伝費	0	
		会議費	40,000	「会議研修手当」等
		旅費交通費	20,000	委員会、研修会運営スタッフ交通費他
		通信運搬費	3,000	連絡通信費
		消耗品費	5,000	事務用品費
		印刷費	3,000	資料印刷
		渉外費	5,000	講師接待、手土産代等
		賃借料	20,000	会場費他
		諸謝金	60,000	講師謝金、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
	高次脳機能障害 地域支援推進 委員会	事業費計	451,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	300,000	会議研修手当等
		旅費交通費	10,000	研修会講師スタッフ交通費等
		通信運搬費	10,000	連絡通信費
		消耗品費	10,000	事務用品等
		印刷費	30,000	資料印刷代
		渉外費	10,000	講師接待、手土産等
		賃借料	30,000	研修会会場賃借料
		諸謝金	50,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料

大科目	中科目	小科目	予算額	備 考
事業費	運転再開 支援委員会	事業費計	59,000	
		福利厚生費	0	
		広告宣伝費	0	
		会議費	24,000	会議研修手当等
		旅費交通費	4,000	講師、研修スタッフ交通費等
		通信運搬費	5,000	連絡通信費
		消耗品費	5,000	事務用品
		印刷費	0	
		渉外費	0	
		賃借料	10,000	会場費他
		諸謝金	10,000	講師謝礼、原稿料他
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
事業費	こころとくらしの 地域支援 委員会	事業費計	809,000	
		福利厚生費	5,000	研修会運営スタッフ弁当代他
		広告宣伝費	20,000	こころ活動広報等
		会議費	180,000	会議研修手当等
		旅費交通費	190,000	委員会・研修会スタッフ交通費、妙技研修参加交通・宿泊費他
		通信運搬費	1,000	連絡通信費
		消耗品費	25,000	事務用品代
		印刷費	10,000	研修会資料印刷費
		渉外費	5,000	手土産代等
		賃借料	30,000	会場費他
		諸謝金	342,000	講師謝礼、川越少年刑務所派遣講師謝礼等
		委託費	0	
		雑費	1,000	銀行引き出し、振り込み手数料
事業費	埼玉県 作業療法学会	事業費計	130,000	埼玉県作業療法学会補助金
			130,000	
予備費			250,000	
支出合計			20,699,000	
次年度繰越			11,310,159	

■第34回 埼玉県作業療法学会

(収入の部)

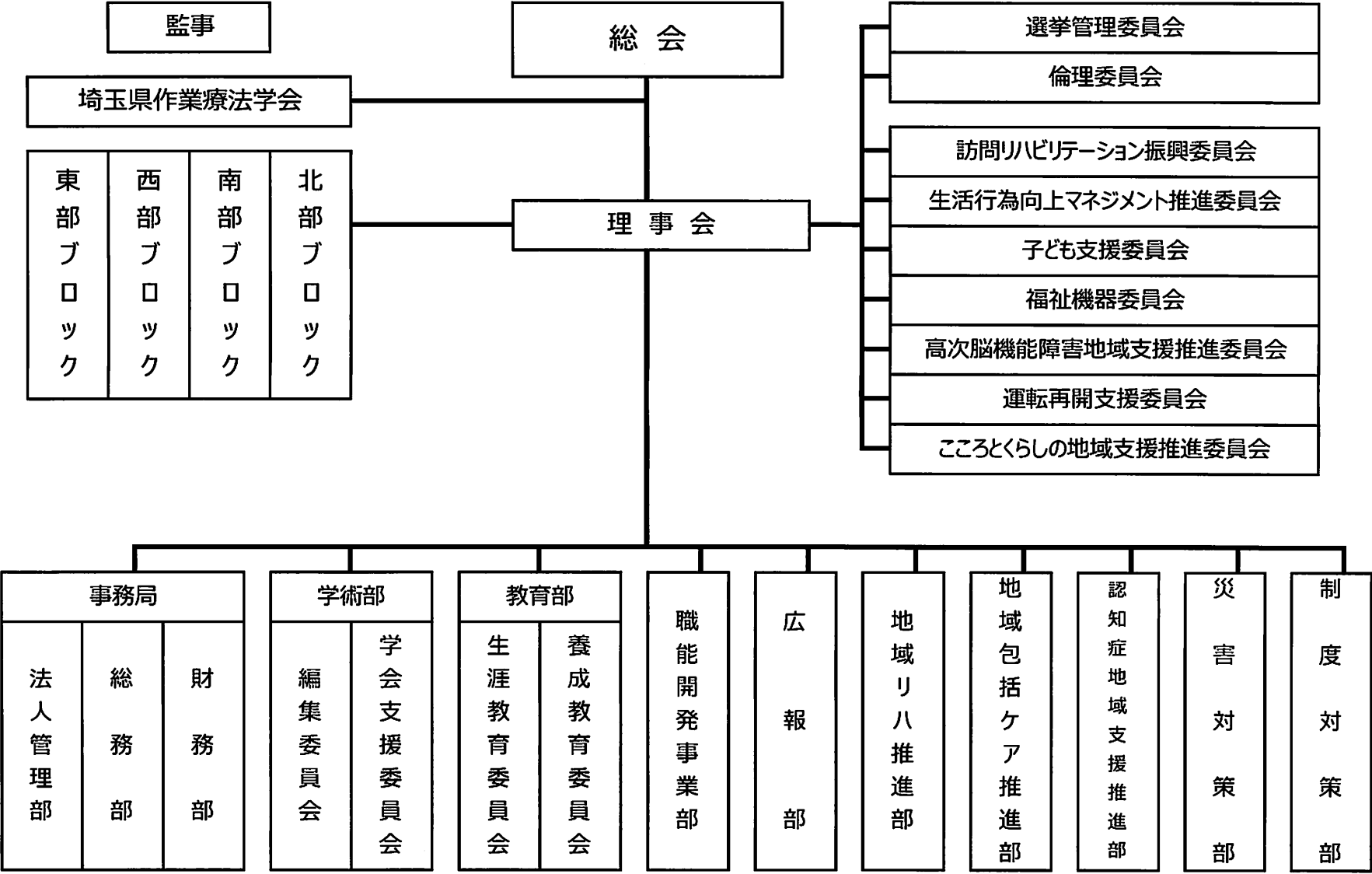
金額単位：円

勘定科目	予算額	備考
参加費(正会員)	260,000	2000円×130名
参加費(非会員)	20,000	4000円×5名
県士会補助金	130,000	
合計	410,000	

(支出の部)

勘定科目	予算額	備考
福利厚生費	50,000	学会運営スタッフ弁当代他
広告宣伝費	0	
会議費	50,000	会議研修手当等
旅費交通費	100,000	運営会議、講師交通費
通信運搬費	5,000	郵送料他
消耗品費	20,000	文具代
印刷費	20,000	チラシ印刷代
渉外費	14,000	学生謝礼 表彰景品
賃借料	0	
諸謝金	150,000	講師謝礼、原稿料他
委託費	0	
雑費	1,000	銀行引き出し、返金手数料
合計(E)	410,000	
差引残高(D-E)	0	

2025・2026年度 一般社団法人 埼玉県作業療法士会組織図



2023・2024年度 一般社団法人 埼玉県作業療法士会 役員名簿

役 職	氏 名	所 属 (2022年度)	所 属 住 所
代表理事(会長)	宇田 英幸	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター	北足立郡伊奈町小室818-2
理事(副会長)	伊藤 伸	国立障害者リハビリテーションセンター	所沢市並木4-1
理事(副会長)	茂木 有希子	株式会社ハート&アート	さいたま市見沼区南中野930- 1
理事(事務局長)	大橋 幸子	文京学院大学	ふじみ野市亀久保1196
理 事	赤間 公一	埼玉県総合リハビリテーションセンター	上尾市西貝塚148-1
理 事	石川 麻子	新座病院	新座市堀ノ内3-14-30
理 事	犬塚 功一	株式会社ハート&アート	さいたま市見沼区南中野930- 1
理 事	岡部 拓大	東京家政大学	狭山市稲荷山2-15-1
理 事	押野 修司	埼玉県立大学	越谷市三野宮820
理 事	北村 ミチル	児童発達支援センター ラボリキッズ	坂戸市関閘4-4-7
理 事	小池 祐士	埼玉県立大学	越谷市三野宮820
理 事	神山 真美	上尾中央医療専門学校	上尾市平塚678-1
理 事	阪井 之哉	霞ヶ関南病院	川越市大字安比奈新田283-1
理 事	鈴木 香織	笠幡病院	川越市笠幡4955-1
理 事	鈴木 康子	埼玉県総合リハビリテーションセンター	上尾市西貝塚148-1
理 事	高橋 啓吾	リハビリテーション天草病院	越谷市平方343-1
理 事	高橋 暢介	株式会社ベルツ 在宅リハビリテーションセンター草加	草加市金明町604-1
理 事	田坂 翔太	埼玉県立大学	越谷市三野宮820
理 事	館岡 周平	目白大学	さいたま市岩槻区浮谷320
理 事	種沢 浩平	原田病院	入間市豊岡1-13-3
理 事	近森 貴裕	西部総合病院	さいたま市桜区上大久保884
理 事	原 裕如	狭山ヶ丘病院	狭山市水野1026
理 事	平田 樹伸	埼玉医科大学総合医療センター	川越市鴨田1981
理 事	藤田 真弓	埼玉医科大学国際医療センター	日高市山根1397-1
理 事	丸 達也	日本医療科学大学	入間郡毛呂山町下川原1276
理 事	吉田 朋子	狭山尚寿会病院	狭山市水野600
理 事	分須 陽	熊谷総合病院	熊谷市中西4-5-1
理 事	渡部 慶和	霞ヶ関南病院	川越市大字安比奈新田283-1
監 事	土屋 美樹	小川赤十字病院	比企郡小川町小川1525
監 事	中間 浩一	小規模多機能型居宅介護グループホーム園 (SONO)	川越市安比奈新田293-3

■ 2024年度 部署長・学会長名簿

部署名	氏 名	勤務先
■事務局		
事務局長	大橋 幸子	文京学院大学
法人管理部長	大橋 幸子	文京学院大学
総務部長	丸 達也	日本医療科学大学
財務部長	北村 ミチル	児童発達支援センター ラボリキッズ
■部・委員会		
学術部長	押野 修司	埼玉県立大学
編集委員長	上原 栄一郎	埼玉県立大学
学会支援委員長	小池 祐士	埼玉県立大学
教育部長	鈴木 香織	笠幡病院
生涯教育委員長	神山 真美	上尾中央医療専門学校
養成教育委員長	岡部 拓大	東京家政大学
職能開発事業部長	藤田 真弓	埼玉医科大学国際医療センター
広報部長	近森 貴裕	西部総合病院
地域リハ推進部長	館岡 周平	目白大学
地域包括ケア推進部長	平田 樹伸	埼玉医科大学総合医療センター
認知症地域支援推進部長	吉田 朋子	狭山尚寿会病院
災害対策部長	阪井 之哉	霞ヶ関南病院
制度対策部長	石川 麻子	新座病院
■ブロック		
東部ブロック長	小池 祐士	埼玉県立大学
西部ブロック長	種沢 浩平	原田病院
南部ブロック長	犬塚 功一	株式会社ハート&アート
北部ブロック長	分須 陽	熊谷総合病院
■常設委員会		
選挙管理委員会長	安永 雅美	文京学院大学
■特設委員会		
訪問リハビリテーション振興委員長	加藤 恒平	(株)ベルツ 在宅リハビリテーションセンター草加
生活行為向上マネジメント推進委員長	高橋 啓吾	リハビリテーション天草病院
子ども支援委員長	田坂 翔太	埼玉県立大学
福祉機器委員長	鈴木 康子	埼玉県総合リハビリテーションセンター
高次脳機能障害地域支援推進委員長	渡部 慶和	霞ヶ関南病院
運転再開支援委員長	赤間 公一	埼玉県総合リハビリテーションセンター
こころとらの地域支援推進委員長	原 裕如	狭山ヶ丘病院
■埼玉県作業療法学学会		
第33回埼玉県作業療法学学会長	國友 淳子	埼玉医科大学総合医療センター

■ 2025年度 部署長・学会長名簿

部署名	氏 名	勤務先
■事務局		
事務局長	大橋 幸子	文京学院大学
法人管理部長	大橋 幸子	文京学院大学
総務部長	丸 達也	日本医療科学大学
財務部長	北村 ミチル	児童発達支援センター ラボリキッズ
■部・委員会		
学術部長	押野 修司	埼玉県立大学
編集委員長	上原 栄一郎	埼玉県立大学
学会支援委員長	小池 祐士	埼玉県立大学
教育部長	鈴木 香織	笠幡病院
生涯教育委員長	神山 真美	上尾中央医療専門学校
養成教育委員長	岡部 拓大	東京家政大学
職能開発事業部長	藤田 真弓	埼玉医科大学国際医療センター
広報部長	近森 貴裕	西部総合病院
地域リハ推進部長	館岡 周平	目白大学
地域包括ケア推進部長	平田 樹伸	埼玉医科大学総合医療センター
認知症地域支援推進部長	吉田 朋子	狭山尚寿会病院
災害対策部長	阪井 之哉	霞ヶ関南病院
制度対策部長	江原 友樹	こぱんはうすくら さいたま宮原教室
■ブロック		
東部ブロック長	内藤 大佑	リハビリテーション天草病院
西部ブロック長	種沢 浩平	原田病院
南部ブロック長	犬塚 功一	株式会社ハート&アート
北部ブロック長	桑原 陽子	埼玉医科大学国際医療センター
■常設委員会		
選挙管理委員会長	安永 雅美	文京学院大学
倫理委員会	伊藤 伸	国立障害者リハビリテーションセンター
■特設委員会		
訪問リハビリテーション振興委員長	加藤 恒平	(株)ベルツ 在宅リハビリテーションセンター草加
生活行為向上マネジメント推進委員長	高橋 啓吾	リハビリテーション天草病院
子ども支援委員長	佐々木 竜也	社会福祉法人 東埼玉 中川の郷療育センター
福祉機器委員長	鈴木 康子	埼玉県総合リハビリテーションセンター
高次脳機能障害地域支援推進委員長	渡部 慶和	霞ヶ関南病院
運転再開支援委員長	赤間 公一	埼玉県総合リハビリテーションセンター
こころとくらしの地域支援推進委員長	原 裕如	狭山ヶ丘病院
■埼玉県作業療法学会		
第34回埼玉県作業療法学会長	高橋 啓吾	リハビリテーション天草病院

2025 年度 日本作業療法士協会生涯教育制度 現職者共通研修・現職者選択研修

厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 開催予定

開催月	現職者共通研修	現職者選択研修	臨床実習指導者講習会
5 月			
6 月		発達障害領域の作業療法	
7 月	⑧事例報告と事例研究 ⑨事例検討 ⑩事例報告		7 月 26 日（土）、27 日（日）
8 月	⑥作業療法の可能性		
9 月	⑤実践のための作業療法研究		
10 月		身体障害領域の作業療法	
11 月	④保健・医療・福祉と地域支援 ⑨事例検討 ⑩事例報告		
12 月	②作業療法における協業・後輩育成		12 月 13 日（土）、14 日（日）
1 月	⑦日本と世界の作業療法の動向		
2 月		精神障害領域の作業療法	
3 月	⑨事例検討 ⑩事例報告		

※①作業療法生涯教育概論、③職業倫理：上半期中開催予定